



ワークショップ討議結果報告

1 目的

武蔵野市では、昭和46年の第一期長期計画から、策定委員会を中心とし、市民参加・議員参加・職員参加によるいわゆる「武蔵野市方式」により策定を行ってきた。

第五期長期計画・調整計画（以下調整計画という。）の策定も、この「武蔵野市方式」を継承するが、4年前の第五期長期計画の策定時から新たな試みとして始まったのが無作為に抽出された市民によるワークショップである。当時は無作為抽出でワークショップを行うこと自体が市として初の試みだったが、現在は他の個別計画の策定等の場面においても、市民の意見を伺う手法の一つとしてたびたび取り上げられている。

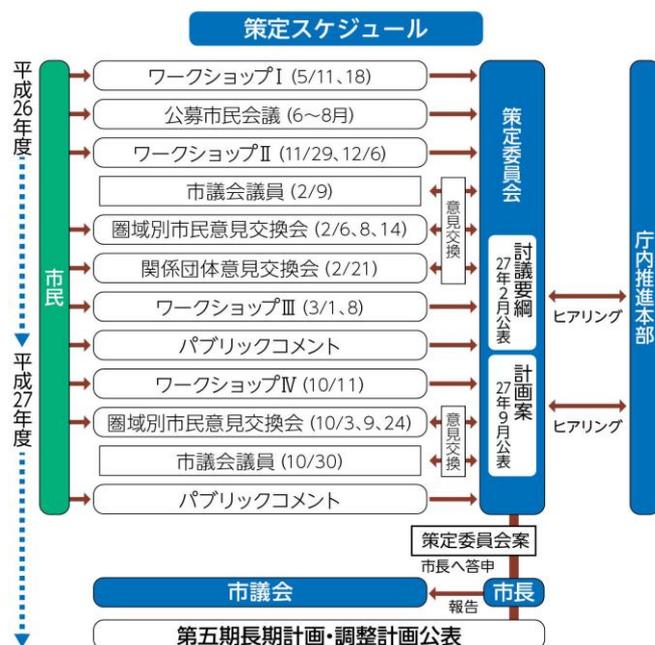
本ワークショップは、調整計画の策定過程で行うもので、これまで市政などに参加の機会が無かった多くの市民にもご参加いただき、多様な意見をいただくとともに、今後の市政参加のきっかけの一助になることを目的として行ったものである。

2 位置づけ

調整計画策定にあたっては、本無作為抽出の市民ワークショップが皮切りとなった。その後、「公募市民会議」、「策定委員会」を設置し、討議要綱を平成27年2月に公表するに至った。「圏域別市民意見交換会」、「関係団体市民意見交換会」など、さまざまな市民参加により討議要綱に関する意見をいただいている。本無作為抽出市民ワークショップで出た意見も市民の意見とする。

無作為抽出市民ワークショップは、今後の策定の過程において既に2回実施しており、3回目である今回は、テーマを「討議要綱」に設定し、市民の皆様にご話し合ってもらった。

なお調整計画の策定スケジュールの全体像は右表のとおりであり、次回の無作為抽出市民によるワークショップは、「重点取り組みに関して、市民ができること・行政がやるべきこと」をテーマとして平成27年10月に開催する。



3 事業概要

- (1) 日 時 平成 27 年 3 月 1 日 (日)・8 日 (日) 13:00~17:00
- (2) 会 場 武蔵野市役所西棟 8 階 811 会議室
- (3) 対象者 平成 26 年 12 月 31 日現在、武蔵野市の住民基本台帳に登録されている年齢 18 歳以上の市民から無作為に抽出した市民 1,000 人及び前回ワークショップⅡ (平成 26 年 11 月実施) の参加者 73 名
- (4) 参加承諾者数 新規参加者: 84 名 (1 日目 74 名、2 日目 71 名)
前回参加者: 38 名 (1 日目 35 名、2 日目 35 名)
合計: 122 名 (1 日目 109 名、2 日目 106 名)
- (5) 参加者数 1 日目: 95 名 (うち前回参加者 32 名)
2 日目: 75 名 (うち前回参加者 27 名)
- (6) テーマ 「武蔵野市第五期長期計画・調整計画の討議要綱について」
- (7) 実施分野 1 日目: 「健康・福祉」「子ども・教育」分野
2 日目: 「文化・市民生活、緑・環境」「都市基盤、行・財政」分野
※第五期長期計画の施策の体系に沿い、4 つの分野に分けて実施した。
- (8) 討議の方法 6~7 人のグループに分かれて自由討議。
途中 1 回メンバーチェンジを行った後、元のグループに戻り、グループごとに意見を 2 つまとめて発表。
最後に全員で投票をし、順位付けを実施。
- (9) 謝 礼 1 日につき 4,000 円 (クオカード)
- (10) アンケート回収数 参加者アンケート 1 日目: 93 件、2 日目: 74 件
参加不承諾者アンケート 306 件
- (11) 託児数 1 日目: 5 名、2 日目: 0 名

4 テーマ及び実施方法

本ワークショップでは、「第五期長期計画・調整計画の討議要綱」をテーマとして、第五期長期計画に掲げられた施策の体系「健康・福祉」「子ども・教育」「文化・市民生活、緑・環境」「都市基盤、行・財政」の 4 つの分野に分かれて話し合いを行った。

話し合いは、各分野について 1 グループ 6~7 名ずつ 14 グループに分かれて行った。ワークショップ 1 日目が「健康・福祉」「子ども・教育」分野、2 日目が「文化・市民生活、緑・環境」「都市基盤、行・財政」分野を対象とした。多くの方と意見交換することで、より深い議論となるよう途中でメンバーの交代を行った後、再度当初のグループに戻って議論を行い、最終的にグループの意見をまとめるワールドカフェ方式をとった。意見は、各グループ 50 文字程度 2 つまでとし、発表用のシートに記載してもらったのち、シートに基づいて発表を行った。その後、1 人につき 3 票の投票権をもって自分が共感できる意見について投票をしてもらい、順位付けを行った。

5 ワークショップ

(1) 出された意見（得票数順、上位3位まで）

①「健康・福祉」分野

順位	グループの意見	得票数
1	役所職員の勉強について	15
2	障害者・高齢者を持つ家族へのサポートの充実	13
3	ミニ・コミセンを創ろう！	12

出された意見の傾向を分析するに、全16意見のうち、民生委員の不足を課題としている意見が4つあった。それぞれに投票を行っているので、1位にはならなかったものの、内容としては、もっとも投票を得た意見となっている。また、シルバー人材センターの活用も多く取り上げられており、この分野は人材に関する意見が多い特徴がある。

②「子ども・教育」分野

順位	グループの意見	得票数
1	英語教育の拡充	21
2	中学生の居場所作り	19
3	シルバー人材センターの有効活用	14

子どもの居場所として、学校の空き教室やコミセンを活用する意見が多く共感を得ている。既存のコミセンだけでなく、ミニ・コミセンという新たに地域密着型の居場所がほしいとの意見もあった。また、ここでもシルバー人材センターを活用する意見が多く取り上げられている。

③「文化・市民生活／緑・環境」分野

順位	グループの意見	得票数
1	街の美観	16
2	すぐやる課を作る	14
3	すぐやる課を創設して欲しい	13

「防犯カメラの設置」「空き家問題」について多くのグループで意見があり、治安について関心が高いことがうかがえる。また、「すぐやる課の創設」についても多く共感を得ており、市に依頼したいことについて窓口を1本化し、早急な対応を望む意見が多い。

④「都市基盤／行・財政」分野

順位	グループの意見	得票数
1	市議会の廃止	18
2	電線の地中化	15
3	若者が住める街、武蔵野！	12

得票自体は多くないものの、多くのグループで自転車のマナーに関する意見がでていた。そのほか電柱地中化、自転車道路の拡大、ムーブスの経路拡大など、交通に関することや、若者・高齢者ともに住みやすいまち作りなどが注目されていた。

(2) 出された意見 (グループ別)

①「健康・福祉」分野 <発表用シート>

武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「健康・福祉」分野		グループ No.1
メンバー	小酒井、吉田、竹中、平賀、金廣、福田	
グループ意見	意見のまとめ	投票欄
	討議要綱との関係性	
民生委員不足の解消	民生委員不足の解消を図ると共に高齢者とのコミュニケーションの充実及び在宅支援のための訪問サービスの内容充実。	●●●●●● ●●●●●
	基本施策3 誰もがいつまでも健康な生活を送るための健康づくりの推進 (討議要綱の方向性の具体的な実現方法)	
テンミリオンハウスの不思議	テンミリオンハウス等の事業がまだ広まっていない。周辺居住者との共生が必要。要役所のサポート。	●●●●●● ●●●●●●
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・介護健康について役所の相談窓口に行っても役所の対応が悪い。役所教育の徹底 ・高齢者のための運動器具を設置及び災害時のためのマップ作り(高齢者用) ・高齢者のための介護ホーム(私官)の財政的サービス(入所費用が高すぎ) ・社会資源とニーズのマッチング。「生活支援コーディネーター(仮称)」を地域生活支援センター以外にも配置することも考えているかどうか、ただの人員の増員なのかどうか。 ・年金からこれ以上の介護保険を引かないで介護を充実するには? 	

武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「健康・福祉」分野		グループ No.2
メンバー	高橋さん、木村さん、江中さん、カワハラさん、春日さん、たまさん	
グループ意見	意見のまとめ	投票欄
	討議要綱との関係性	
頭と体の健康 を維持した い！	住み慣れた街で、いつまでも健康でいられるよう毎年検診を受けたい。 将来一人になっても不安にならないシステム作り。	●●●●●●● ●
	基本施策3 誰もがいつまでも健康な生活を送るための健康づくりの推進 (討議要綱の方向性の具体的な実現方法)	
一人暮らしの 為の福祉充実	民生委員の人数を増やす。 シルバー人材センターの活用。 路地パーティーやファミレスでの会合。 ムーブスやレモンキャブが使いやすくなって	●●●●●●● ●●●●
	基本施策1 支え合いの気持ちをつぐむ (討議要綱の方向性の具体的な実現方法)	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・他市との協力関係 ・民生委員の活動人数を増やす ・シルバー人材センターの拡充 ・電話や訪問サービス(週2~3回) ・一人暮らしの方への温度計、室温計の配布 ・TELするのも大変めんどう ・市報むさしのをもう少し読みやすく→視覚化 ・災害時の対応 ・配食による生存確認 ・学校給食を利用できるか? ・宅配サービス 	

武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「健康・福祉」分野		グループ No.3
メンバー	鈴木、まきなえ、野村、古川、宮本、工藤	
グループ意見	意見のまとめ	投票欄
	討議要綱との関係性	
民生委員の不足について	シルバー人材センターを活用することで独居者の見守りをする。または、委員自身が活動を通して健康的な生きがいに繋がっていく。	●●●●●● ●●●●●●
	基本施策 (討議要綱の方向性の具体的な実現方法)	
役所職員の勉強について	システムのみ作って運用に上手にされていない事が多い。職員にはもっと専門性を勉強して市民へのサービス向上を望む。	分野で1位 ●●●●●● ●●●●●● ●●●●●●
	討議要綱にはない課題	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・介護する側のサポート ・空き家などを利用して高齢者、知的障害者、学童など集まり、料理作り、お話し会などボランティアがサポートして、ひきこもりや認知症の予防に役立てる場所を作る。 ・地域の人が顔見知りになれるような場所作り ・高齢者・障害者向けの学校のような居場所を増やす？ ・高齢者・障害者の方々でも、今より少しでも自立的に生きていけるようになると良いかも？ ・武蔵野塾（仮）・・・みたいな学校のような交流の場を作る ・終末期までの切れ目のない支援 ・健康寿命の延伸に向けた施策 	

武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「健康・福祉」分野		グループ No.4
メンバー	井村、平山、阿部、古庄、あおきさん、上野	
グループ意見	意見のまとめ	投票欄
	討議要綱との関係性	
近隣住民との つながり	近所の人達が、つかず離れず気軽に話し合い集える場所が小規模で数多くほしい。利用者の偏りを防ぐための工夫をしたい。	●●●●●● ●●
	基本施策1 地域社会と市民活動の活性化 (討議要綱の方向性の具体的な実現方法)	
障害者・高齢者 を持つ家族への サポートの 充実	学生ボランティア等による援助で負担を減らしてほしい。自宅へ来て家族の悩みや苦労を感じ、理解を深めてもらいたい。	分野で2位 ●●●●●● ●●●●●● ●●●●
	討議要綱とは別の方向性と実現方法	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・病院の情報提供 ・(老人も子供も) 孤立させない方法 ・子育て中の母親へのきめ細かな専門家のアドバイス、見回り ・高齢者・障害者への接し方を家に来て専門家にアドバイスをもらう ・救急病院の充実 ・後期高齢の方が救急の場合、自分の入りたい病院に入れてもらいたい 	

武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「健康・福祉」分野		グループ No.5
メンバー	安田、渡辺、佐藤、山上、城、大野	
グループ意見	意見のまとめ	投票欄
	討議要綱との関係性	
1人暮らしの 高齢者を守ろう	①参加しやすいコミュニティ 自動と小規模 ②いきいき配布 緊急通報装置の原則配布 ③日用品の購入支援	●●●●●●
	基本施策1 地域社会と市民活動の活性化 (討議要綱の方向性の具体的な実現方法)	
健康を守ろう	①検診の早期化・低負担・メンタル対策 ②市民病院 ③公園で大人用器具・歩こう会モデルコース設定(市内)	●●●●●● ●●
	基本施策3 誰もがいつでも健康な生活を送るための健康づくりの推進 (討議要綱の方向性の具体的な実現方法)	
残したい意見	・民生委員の数を増・認知症対策・高齢者介護対策	

武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「健康・福祉」分野		グループ No.6
メンバー	東、茂木、寺岡、岡崎、田村、橋本	
グループ意見	意見のまとめ	投票欄
	討議要綱との関係性	
地域共助の充実	昔の様な絆は難しいのでシルバー人材を充実させて、民生委員を増員して、シルバー活躍を促し、見守りを強くする。	●●●●●● ●●●●●● ●
	基本施策1 地域社会と市民活動の活性化 (討議要綱の方向性の具体的な実現方法)	
高齢化社会に向けての健康維持を目指す	老々介護に向けて介護する側のケア体制を強める。健康管理のための運動プログラムを工夫し、車イスでの安心散歩の町づくり。	●●
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉積立金 ・地域共助交流サークルの充実 ・認知症の市民を地域で見守る体制作り ・高齢者を孤立させないため、市民ボランティアとつなげるシステムを作り上げる ・一人暮らし高齢者のためにブザー設置 ・介護する人のケアにも力を入れて ・雑学大学の充実 ・地域共助→仕事につなげる男性は入りにくい ・健康管理のための運動プログラム ・救急医療の充実 	

武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「健康・福祉」分野		グループ No.7
メンバー	中村、星野、内田、稲岡、石丸、小川	
グループ意見	意見のまとめ	投票欄
	討議要綱との関係性	
若者層への予算の傾斜配分	武蔵野市と国の活力を低下させないため予算配分を若年層により多くまわすようにする。	●●●●●● ●●●●
成人ひきこもり(20才~60才位)への対応	シルバーの活用を含め、早急対策を講ずるべき	●●●●●● ●●●●●● ●
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉の積み立金制度 ・税金を若者層(18才)から支払わせる ・終末医療の適正化による保険料の確保 ・健康器具、介護者のケア、町会、家族会 ・今取り組まないと、将来大問題になる「成人ひきこもり」 ・選挙権の18才からの付与 	

武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「健康・福祉」分野		グループ No.8
メンバー	オヌキさん、田さん、キムラさん、サガラさん、林さん、吉田さん	
グループ意見	意見のまとめ	投票欄
	討議要綱との関係性	
ミニ・コミセンを創ろう!	<p>現状は敷居がたかい。遠い。参加したいイベントが少ない。時間も合わないので、“地域密着型の”ミニ・コミセンを創る。</p> <p>基本施策1 支え合いの気持ちをつむぐ 討議要綱の方向性の具体的な実現方法</p>	分野で3位 ●●●●●● ●●●●●● ●●
(独居・老人など)市政の積極関与をして欲しい!	<p>現状の独居者は不安だらけで暮らしている。ひきこもり、老人も同じです。シニアを活用して見守り等の仕組・サービスを。</p> <p>基本施策1 支え合いの気持ちをつむぐ 討議要綱の方向性の具体的な実現方法</p>	●●●●●● ●●●●●●
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・保険料が高い。生きていけない人がたくさんいるヨ!なんとかしてヨ! ・健康づくりの情報発信をもっとして欲しい。歯科検診も市でプッシュして欲しい。体操の情報も。 	

②「子ども・教育」分野 <発表用シート>

武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「子ども・教育」分野		グループ No.8
メンバー	後藤、り、いりさわ、なす、野中、八木、杉原	
グループ意見	意見のまとめ	投票欄
	討議要綱との関係性	
保育園情報の充実	市内の園の詳細情報を集約したパンフレットを作成、合同説明会を開催し、忙しいお母さんが一度に比較検討できる機会を作る。	●●●●
	討議要綱とは別の方向性と実現方法	
地域大学と高齢者の活用	市内の5大学と各地域の高齢者が協力し合い、小中学生のための学習支援等の補習講座を開設する。	●●●●●● ●●●●●● ●●●●●●
	討議要綱とは別の方向性と実現方法	
残したい意見	・見守り隊の情報の公開→より幅広い人材の採用	

武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「子ども・教育」分野		グループ No.9
メンバー	手塚、村田、今井、和、ジュン、大川、しげ	
グループ意見	意見のまとめ	投票欄
	討議要綱との関係性	
地域の安全対策	防犯カメラの設置や警察を含む地域ネットワークの充実。特に下校時の子ども達の見守り体制の強化に地域で取り組む。	●●●●
	討議要綱の方向性の具体的な実現方法	
シルバー人材の有効活用	豊富なシルバー人材と子育て世代のニーズとのマッチング。 SNSの活用、市報・コミセン・PTAとの連携。	分野で3位 ●●●●●● ●●●●●● ●●●●●●
	討議要綱の方向性の具体的な実現方法	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館、公立幼稚園の充実 ・英語教育の早期化 ・学校空き教室の有効活用 ・保育園、学童クラブの受入数増加 	

武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「子ども・教育」分野		グループ No.10
メンバー	仙石さん、小山さん、野津さん、頼永さん、木原さん、宮垣さん、原田さん	
グループ意見	意見のまとめ	投票欄
	討議要綱との関係性	
子育てのための地域のつながり	シルバー人材を活用。ポイント制を設け、動機づけする。公的機関、学校とも契約できる体制にする。	●●●●●● ●●●●
子供のための施設拡充	児童館等の施設の存続。学校を且活用し、空き教室を利用する。保育園・一時保育の充実。予約の優先範囲、枠の拡大。	●
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の教育3本柱 ①家庭②学校③地域 ・具体的事例に基づく道徳教育の実施 ・社会教育についての記述があまり書かれていないが、その辺はどうなっているのか ・教育分野を管理する主体が行政に携えているが、行政サイドの声が全く聞こえて来ない ・教育基本法が改正され、教育を取り巻く環境は大きく変わりつつある。要綱は学校教育委偏っている ・ボランティア（子どもを見たい人はいる）と金を払う人の両立 ・登録制のベビーシッター ・地域マネーを利用したベビーシッター ・保育園・学童・あそべえがつながっていない ・公立の幼稚園がない ・空き教室の活用 ・児童館が少ない→あそべえ・コミセンも少ない。学校がベスト+シルバー ・あそべえの一度帰ることの必要性 	

武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「子ども・教育」分野		グループ No.11
メンバー	池末、みや川、加藤、松本、中村、花澤	
グループ意見	意見のまとめ	投票欄
	討議要綱との関係性	
中学生の居場所作り	コミセン・空き教室を活用し放課後の居場所を提供。人材は地域の中高大学生、シルバーを連携させて次世代リーダーを育てる。	分野で2位 ●●●●●● ●●●●●● ●●●●●● ●●●●●●
	基本施策3 青少年の成長・自立への支援 討議要綱の方向性の具体的な実現方法	
ネット社会とリテラシー教育	学校・地域で SNS やインターネットの利点とリスクについて講座を開く。子どもの SOS を受けるネット窓口を設ける。	●●●●●● ●●●●●●
	基本施策5 次代を担う力をはぐくむ学校教育 討議要綱の方向性の具体的な実現方法	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修士、博士等有資格者の人材活用になる理化学教育 ・ 高齢者より子育てに予算重点配分 ・ 中学生がハマれる地域のクラブがほしい（学校と関係なく） ・ シルバー人材の活用、登下校送り、見送り、防犯カメラ ・ 小中高一貫教育 ・ 市が広報をしっかりとる。 ・ 友好都市との交流活用（国内、海外） ・ 小学生が農業や介護等の職業体験できるカリキュラムを作ってみては。 	

武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「子ども・教育」分野		グループ No.12
メンバー	小日向、ツナ、勝山、鈴木、芦田、武サシ	
グループ意見	意見のまとめ	投票欄
	討議要綱との関係性	
保育施設の充実	認証保育所の新規増設。	●●●●●● ●●●●●● ●●●●
児童館の増設	現在、桜堤児童館のみのため、他の三地区にも必要。	●●
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学童あそべえと市内教育施設との連携 ・学童から習い事への送迎してくれる ・サービスを利用しやすく。事業者を増やす（一時預り、送迎） ・子育て支援事業に利用できるバウチャーチケット配布 ・若い親を育てるために支援を必要とする ・小中一貫教育では学生同士の交流などを進めて小学校から中学校へのスムーズな進学がよいのではないかと思います ・最近、みどりのおばさんって見かけませんよね。あぶない所が増えているのに何故？ ・自転車の乗り方の指導を小学生からしてほしい。やっている所もあるそうですが ・30人学級必要 	

武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「子ども・教育」分野		グループ No.13
メンバー	小林、佐藤、武田、藤谷、石川、池田	
グループ意見	意見のまとめ	投票欄
	討議要綱との関係性	
保育	①一時保育サービスの拡充 ②コミセン有効活用 ③ITの活用	●●●●●●
	討議要綱の方向性の具体的な実現方法	
子供と高齢者の共存	①小中学校でのシルバー人材活用の推進 ②保育のシルバー人材活用	●●●●●● ●●●●●
残したい意見		

武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「子ども・教育」分野		グループ No.14
メンバー	ピーター、ジョン、安藤、廣瀬、溝渕、大岩	
グループ意見	意見のまとめ	投票欄
	討議要綱との関係性	
英語教育の拡充	小学校から会話を重視し成績を付けない教育を行う。さらに学校以外でも外国人や大学生参加の場を広げ会話の機会を作る。	分野で1位 ●●●●●● ●●●●●● ●●●●●● ●●●●
	討議要綱にない課題	
教育格差の解消のための支援	大学生やシニア等のボランティアによる無償の教育支援の場の拡充。あそべえで行われているような支援体制づくりを推進。	●●●●●● ●●●●●● ●●●●
	討議要綱にない課題	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童ゼロ ・小中高一貫 ・武蔵野市は議員数を減らして直接市民の意見を取り入れるべき 	

③「文化・市民生活/緑・環境」分野 <発表用シート>

武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「文化・市民生活/緑・環境」分野		グループ No.1
メンバー	コピナタ、安田、野島、落合、古庄、佐藤	
グループ意見	意見のまとめ	投票欄
	討議要綱との関係性	
すぐやる課	IT 掲示板の設置と防犯カメラの設置 公園や空地の花木の管理	●●●●●● ●●
	討議要綱とは別の方向性と実現方法	
シニアアドバイザー	シニアの活躍によって子供やシニアに安全な市民生活を確保。 すぐやる課のサポート役としてバックアップ。	●●●●●●
	討議要綱とは別の方向性と実現方法	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野市の宝 水と梨→ふるさと納税 ・武蔵野ブランド、ご当地キャラ→ふるさと納税 	

武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「文化・市民生活/緑・環境」分野		グループ No.2
メンバー	ヤス、金廣、カワハラ、茂木、ハシモト	
グループ意見	意見のまとめ	投票欄
	討議要綱との関係性	
安心安全な環境づくり	現在、あまり設置されていない住宅地、商業地に防犯カメラを設置する。	●●●●●● ●
	市所有の資産をもっと利益の生む資産にたてかえる。かつ市役所をもっとスマート化する。	●●●●●● ●●
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家、空き地の有効活用 ・アニメ文化がさかんなので「映画祭」などやったらよい ・吉祥寺駅の周辺は人気なので外部からもっと人をよんでも良いと思う。「映画祭」などやったらよいのでは。 	

武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「文化・市民生活/緑・環境」分野		グループ No.3
メンバー	城、高橋、笹本、廣瀬、鈴木	
グループ意見	意見のまとめ	投票欄
	討議要綱との関係性	
すぐやる課を作る	空家の管理、住宅地の防犯カメラの設置など、市に依頼したいことの窓口を一本化し、速やかに対応してもらおう。	分野で2位 ●●●●●● ●●●●●● ●●●●●●
スポーツ施設の再整備	プールの整備、テニスコートの増設	●●●●●●
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野市の水を使って酒をつくる！！武蔵野ブランド ・図書館とコミセンのコラボレーション ・公園に大人の為の健康器具を設置する ・スポーツ活動への支援、年末年始の休日の施設開放をする。1月1日は休みでOK、その他12/29~12/31、1/2~は解放 ・空き家、防犯カメラ、移動ライブラリー ・ムーバスの時間、防犯、自転車、安全安心 ・水道水の100%地下水をめざす。吉祥寺ブランド ・上水にエサをあげている人がおり水質に問題があるのでは ・災害備蓄品を配る 	

武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「文化・市民生活/緑・環境」分野		グループ No.4
メンバー	芦田、吉田、仙石、高橋、大野、高見澤	
グループ意見	意見のまとめ 討議要綱との関係性	投票欄
防犯力の向上 …防犯カメラ	駅周辺とか繁華街だけでなく、住宅街や公園にも防犯カメラを設置してほしい。徘徊者の早期発見にも役立つ。	●●●●●● ●●●●●
街の美観	美観をそこねる派手な目立ち過ぎる看板や乱立するのぼり旗等の規制。廃品回収等の騒音規制。電線の地中化。	分野で1位 ●●●●●● ●●●●●● ●●●●●● ●
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ムーバスのルート検討 ・ムーバスの本数増 ・移動図書館があったら良い ・境地区から市役所・市民体育館方面へのムーバス運行 ・コミセン使用方法 ・自転車のマナー ・ごみ減量のチャレンジ 600g を長期目標値に設定する 	

武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「文化・市民生活/緑・環境」分野		グループ No.5
メンバー	田村、オヌキ、ツナ、木村、石丸	
グループ意見	意見のまとめ	投票欄
	討議要綱との関係性	
緑の保全と防虫対策	緑の町武蔵野と言われているが、大きな木の枝落としや落ち葉問題、防虫対策等の問題があるので解決してほしい。	●●●●●● ●●
	基本施策3 「緑」を基軸としたまちづくりの推進 討議要綱の方向性の具体的な実現方法	
安全安心な町づくり	防犯カメラを増設し騒音の少ない明るい街づくりを推進して、さらに空き家の有効活用し、市民の集いの場所をつくる。	●●●●●●
	基本施策8 多様な危機への対応の強化 討議要綱の方向性の具体的な実現方法	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな木は簡単に切らないように（市がチェック） ・ムーバスの新設（市役所経由） ・美観、ごみ集積、自転車 ・落ち葉の問題（持ち主の負担） ・安全・安心なまちづくり ・コミュニティセンターについて、月の市報に案内が書いてあるが、もう少し詳しく（細かく）、わかりやすくしてほしい ・夜間、土日、一家で集える場所にしてほしい ・すぐにやる課、水の活用 ・市民の集まれる場所を増やす（空き家、空き室 etc） ・空き家を行政で（年に2回くらいは市でチェックする） ・マンション等に設置しているごみ処理機（ディスポージャー）は生ごみを粉碎して流してしまうので河川を汚してしまう。ディスポージャー設置には配慮が必要。ディスポージャーが良いと思っている人もいるのでディスポージャーの処理状況を知りたい。知らせたりすることも大切。 	

武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「文化・市民生活/緑・環境」分野		グループ No.6
メンバー	鈴木さん、すすきさん、中村さん、笥さん、小山さん、林さん	
グループ意見	意見のまとめ	投票欄
	討議要綱との関係性	
安心・安全のためのコミュニティづくり	街頭不足への対応、防犯カメラの設置、災害時放送有効化の防犯対策とコミュニティ活性化により住みやすい街を実現する。	●●●●●● ●●
	基本施策1 地域社会と市民活動の活性化 討議要綱の方向性の具体的な実現方法	
“すぐやる課”を創設して欲しい!	コミセン、空き家問題、テンミリオンの活性化等、輻輳する課題を一挙に解決してもらいたい。進捗は電子掲示板等で教える。	分野で3位 ●●●●●● ●●●●●● ●●●●
	基本施策8 多様な危機への対応の強化	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・旧飛行場跡地の記録保存 ・中島飛行場など武蔵野の戦争体験を残そう！アト数年だ！ ・災害時のコミュニティ ・年齢層を越えたスポーツコミュニティの育成 ・一家一木運動のような武蔵野市らしい植木？運動 ・武蔵野市らしい特産品の開発 ・高架下の開発 ・映画・ドラマの撮影場所の積極的な案内 ・ディスプレイを止めて、コンポストタイプへ 	

武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「文化・市民生活/緑・環境」分野		グループ No.7
メンバー	吉田、内田、阿部、武さし、平賀	
グループ意見	意見のまとめ	投票欄
	討議要綱との関係性	
市民生活(コミュニティのあり方)	コミュニティのとらえ方が高齢化に伴い以前と大きく変化している。災害や一人住まいを考えると市の方から出来る限りのフォローが必要。	●●●●●●
環境(空き家対策・緑)	空き家の増加は治安上、防災上、大問題であるので、積極的対策を望む。緑の減少を少なくするためにも市の補助をお願いしたい。	●●●●●● ●●●●
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティとしての認知症対策 ・市の保有林が大きくなって、どうにかならないか ・緑を守る為に、ある程度の緑化を義務化する ・東京オリンピックに向けた市民参加ボランティア ・一人住まいの方へのフォロー ・災害への対応、コミュニティ作りの必要性 ・空き家へのごみ投棄、隣近所の治安 ・エコ対策、生ごみを削減、ディスプレイ付マンション ・人が集まることは良いことですが、治安が悪くならないように！ 	

④「都市基盤/行・財政」分野 <発表用シート>

武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「都市基盤/行・財政」分野		グループ No.8
メンバー	溝淵、野津、あら、木原、手塚	
グループ意見	意見のまとめ	投票欄
	討議要綱との関係性	
道路の整備	自転車道路の拡大。電線の地中化、段差をなくす。自転車利用者のマナー向上。コミセンなどで講習会、シルバー人材や若者（大学生）活用。	●
若者の起業	空き家を活用して、若者の起業支援。漫画・アニメ文化をPR。オリンピックと合わせてPR。大友克洋らも活用。たまり場。	●●●●●● ●●●●●●
	基本施策6 住宅施策の総合的な取り組み 討議要綱にない課題	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の整備 ・行政の出前えが必要な時期に来ているのでは ・商店街の健全化（ギャンブル関係等） ・ムーバス（経路少ない）とレモンキャブの使いやすさ 	

武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「都市基盤/行・財政」分野		グループ No.9
メンバー	みや川さん、ヒキチさん、平山さん、ジュンさん、さとうさん、原田さん	
グループ意見	意見のまとめ	
	投票欄 討議要綱との関係性	
若者が住める街、武蔵野！	家賃補助、空き家、空き物件の有効活用等、若者層にも住みやすい住環境を創出する。※若者層：単独、世帯に関わらず。20代半ば～40代未満	分野で3位 ●●●●●● ●●●●●● ●●
	基本施策6 住宅施策の総合的な取り組み 討議要綱の方向性の具体的な実現方法	
人・自転車・車の共存共栄の街	3者が共存共栄できるシステムの構築。金をかけずソフトで解決を出す。市民全体でアイデアを出しあう。	●●●●●● ●●●●●●
	基本施策3 利用者の視点を重視した安全で円滑な交通環境の整備、 基本施策4 道路ネットワークの整備 討議要綱の方向性の具体的な実現方法	
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ対策の強化 ・マイナンバー制度に不安 ・吉祥寺方式の自転車への応用 ・産業振興（アニメ、ソフト etc） ・歩きタバコ危険。行政としてもっと考えてほしい。 ・道路に面した会社の敷地間での喫煙。20人くらいで吸っている時に、道路も煙がすごい。通学路でもある。 ・スタジオジブリ的な、行きたくなる場所を増やしていく。 ・災害時を考慮した地下水利用の継続 ・ムーバスきめ細かく ・三鷹駅北口の活性化。駐輪場、駐車場だけではもったいない ・市議会議員の減少 ・吉祥寺ブランド向上 ・専門的、経験豊かな職員の弾力的採用（嘱託含め） ・小さな市役所 ・駐輪台0円 	

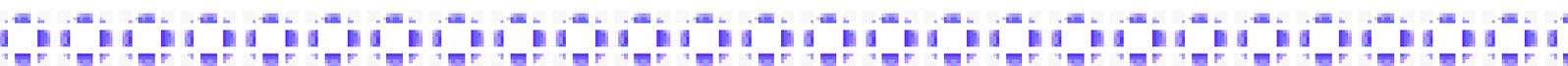
武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「都市基盤/行・財政」分野		グループ No.10
メンバー	山上、藤谷、小酒井、頼永、カシムラ	
グループ意見	意見のまとめ	投票欄
	討議要綱との関係性	
空き家、遊休施設を活用	市はすぐ公園にする×。 有効活用、民間のアイデアを！ ex：ミニコミセン、サークル教室、これで住民流入を拡大	●●●
	基本施策2 市民視線に立ったサービスの提供 討議要綱の方向性の具体的な実現方法	
吉祥寺ウェルカム	観光、商業の振興のため国内外の観光客を呼び込む対策。観光施設、ルート、案内表示、これで税収増につなげる	●●●●●● ●●●
	基本施策7 三駅周辺まちづくりの推進 討議要綱の方向性の具体的な実現方法	
残したい意見	道路、自転車、ライフラインのインフラ	

武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「都市基盤/行・財政」分野		グループ No.11
メンバー	星野、福田、中村、春日、いりさわ	
グループ意見	意見のまとめ	投票欄
	討議要綱との関係性	
公共施設の駅近くへの再配置	高齢化と財政基盤を見すえ、文化会館改築を止め、公会堂を市役所機能を持たせた便利施設に新築する。	●●●●●● ●●●●●
市内の交通環境の整備	商店街地域に歩行者優先の視点に立った自動車、自転車侵入禁止区域を設け、駐輪、駐車場を併設する。	●●●●●
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・電線を地下に埋める ・水がおいしい！ ・体育館、図書館等市外利用者に向けてもアピールする。収入UP ・街灯を増やしてほしい。(防犯) ・市の統合、適正サイズの市予算、予算が余れば積み立て ・老人のたまり場がほしい ・居酒屋たまり場・自転車のシェア 	

武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「都市基盤/行・財政」分野		グループ No.12
メンバー	渡辺、木村、福重、ひがし、池末	
グループ意見	意見のまとめ	投票欄
	討議要綱との関係性	
吉祥寺特区	都道を全て地下にして、現在の道は歩行者天国とする。自転車も進入禁止で歩行者にやさしい街に。	●●●●●● ●
市議会の廃止	市民参加型行政機構の運営。権限を拡大する。財政圧迫のわりに政策や成果が・・・な市議は・・・。	分野で1位 ●●●●●● ●●●●●● ●●●●●● ●●●●
残したい意見	・シェアハウスを増やす。市が助成	

武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について 「都市基盤/行・財政」分野		グループ No.13
メンバー	古川、タムラ、松本、ジュン、後藤	
グループ意見	意見のまとめ	投票欄
	討議要綱との関係性	
労働人口を増やす為には	・高額家賃への助成（若年層） ・UR や公営住宅への働きかけ ・起業支援 以上をもって税収を増加させる。	●●●●●●
電線の地中化	・災害時のインフラ確保 ・交通の障害を無くす ・都市景観の向上	分野で2位 ●●●●●● ●●●●●● ●●●●●●
残したい意見	・市議会議員数の減員・マイナンバーについて不安 ・図書館の電子書籍・電子雑誌拡大 ・地域消防団、自衛消防の存在周知 ・総合体育館が遠くて利用できない。第一層ということで唯一であるが、民間にあるプール等、手近で利用できるようはかってほしい。	
武蔵野市第五期長期計画・調整計画討議要綱について		グループ

「都市基盤/行・財政」分野		No.14
メンバー	井村さん、江中さん、青木さん、ピーターさん、野中さん、加藤さん	
グループ意見	意見のまとめ	投票欄
	討議要綱との関係性	
若い世代の住みやすい街作り	税の増収の為に、若い人が新しく働けるベンチャー等の企業誘致の支援を。老若がバランス良く近くに住む街にする（eco住宅など）	●●●●●● ●
明るく安全な街作り	街灯の増設（ソーラー化等）、パトロールの強化により、駅前と住宅地の光の差を無くしていく。	●●●●●●
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルメットの着用をすすめる ・自転車を減らす。自転車置場の整備 ・自転車道と歩行者道の区別けし、相互の安全を ・街中に自転車を入れないために自転車プールを 	



ワークショップ実施状況報告

1 当日の進行

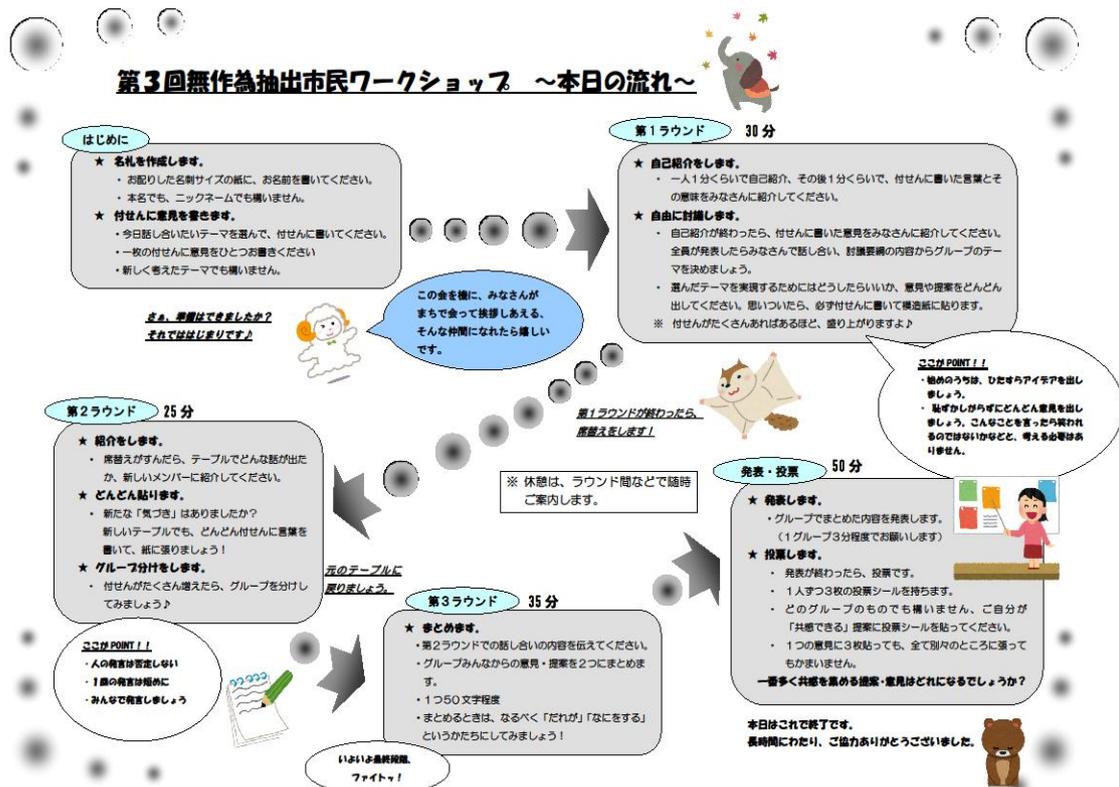
時刻	所要時間(分)	内容	具体的な動き
12:30～		開場・受付開始	受付時、くじを引いてもらいテーブル決定
13:00～13:10	10	オープニング 導入・説明	①1日の流れ説明 ②スタッフ(職員)紹介
13:10～13:25	15	分野説明	パワーポイント 1日目 ①健康・福祉 ②子ども・教育 2日目 ①文化・市民生活 ②緑・環境 ③都市基盤 ④行・財政
13:25～13:30	5	話し合いについての説明	
13:30～13:40	10	作業	付せん書き(今回話し合いのテーマ、3つまで)
13:40～14:10	30	関係性を高める 課題の共有 意見の発散	第1ラウンド ①自己紹介及び選んだテーマの発表、話し合い(自由討議) ②テーブルテーマの決定 ③解決策についての提案
14:10～14:15	5	移動	メンバーチェンジ (進行係の左隣に座っている人をテーブルホストとして残して、他全員入れ替え、自由に空いている席に行く)
14:15～14:40	25	関係性を高める 新しい発見・ 気づきを得る	第2ラウンド ①テーブルに残った進行係から順に自己紹介&テーブルホストから第1ラウンドでの話し合い内容紹介 ②話し合い(自由討議)&付せん書き
14:40～15:00	20	移動&休憩	メンバーチェンジ(最初のテーブルに戻る)
15:00～15:05	5	説明	第3ラウンドと作業の説明
15:05～15:40	35	新しい情報を共有 する 結論を出す	第3ラウンド ①第2ラウンドでの話し合い内容紹介 ②提案をまとめる ・グルーピング→タイトル付け ・キーワード出し ・模造紙上で類似した意見等を集めてそれにタイトルをあてはめる。 ③各意見に説明付け
15:40～16:30	50	意見発表	グループごとに意見発表(1グループ3分)
16:30～16:40	10	投票&集計	
16:40～16:45	5	クロージング①	投票結果の確認(得票数上位3位までのものを紹介)
16:45～16:50	5	クロージング②	閉会の挨拶、今後の策定スケジュール紹介
16:50～17:00	10	終了	アンケート記入後、自由解散

2 使用したシート等

- (1) 当日は、第五期長期計画・調整計画の討議要綱について話し合っていたくため、討議要綱、話し合いのルール、ワークショップ全体の流れを配布した。

今日の話し合いを効果的に進めるために、皆さんにお願いがあります。

- 1 始めのうちは、ひたすら思っていることやアイデアを出しましょう。
- 2 恥ずかしがらずにどんどん意見を出しましょう。
- 3 相手の出したアイデアは否定しないで、お互いに褒め合しましょう。
- 4 参加した皆さん全員が発言できるようにお互いに配慮しましょう。
- 5 人の意見を聞いて、自分の意見が変わっても構いません。
- 6 会議の目的は結論を出すことです。何かを決めて終わるようにして、後戻りはしないようにしましょう。
- 7 話は短く簡潔にお願いします。お一人が長々と話してしまうと、他の人の発言の時間が少なくなってしまいます。何回話してもかまわないので、1回当たりの発言は短めを意識してください。



(2) 発表用のシートは、A1版の模造紙に以下の内容を印刷したものを使用した。

第五期長期計画・調整計画 討議要綱について 「分野」											グループ No.	
メンバー												
グループ 意見 まとめ (1つ50 字程度で 2つまで)	<small>討議要綱の基本施策「 」の部分について <input type="checkbox"/> 討議要綱の方向性の具体的な実現方法 <input type="checkbox"/> 討議要綱とは別の方向性と実現方法 <input type="checkbox"/> 討議要綱にない課題 <input type="checkbox"/> その他()</small> テーマ										投票欄	
	1											
残したい意見												

<発表用シート (A1判) >

- * グループで出せる意見は、2つまでとした。
- * 今回は、基本的に討議要綱から項目を選んで記入するため、その選んだ項目と選んだ理由を書く欄を設けた。また討議要綱に書かれていない分野については新しい項目として記入していただいた。

(3) その他参考資料として、長期計画の冊子、地域生活環境指標を各グループに1冊配布し、意見出しや話合いの参考にしていただいた。

3 ワークショップの状況

分野・テーブル決め

各分野で人数が均等になるように、また各グループの人数が均等になるように、受付でくじを引いていただき、分野とテーブルを決定した。討議する分野が当日くじで決まるため、くじで決まった分野ではなく、自分の関心が高いもう一つの分野へ参加したいとの意見も一部から聞かれたが、無作為抽出の意図を説明し、抽選の結果どおりのテーブルにつくようお願いした。

席の数・くじの数は、当日に何らかの理由により急遽欠席する方もいるため、参加承諾者数よりも少な目にした。

グループ討議

1日目、2日目とも2分野で14グループ（各分野7グループずつ）に分かれて討議を行った。進行役、テーブルホストは司会が指名して、話し合いを進めた。

話し合いを始める前に終了時刻をお知らせし、途中で何度か予告を行い、時間になったら声掛けをし、話し合いをやめてもらう形をとった。途中何度か「もう少しだけ時間がほしい」という声も聞かれ、数分の延長で対応した。

また、討議最後の発表用シートの作成についても、作業時間が足りないとの声も一部から聞かれたが、作業が終わり次第随時休憩を取ることとし、休憩時間で調整をしていただいた。



導入部分ではスクリーンを用いて討議要綱の説明の様子



意見をふせんに書き、グループ内で多くの意見を出し合いました。



ふせんに書いた意見から、発表用シートの作成の様子

発 表

各グループでの話し合いの結果を、それぞれ2つの意見にまとめて発表した。

発表者は、グループの中で誰にするかを決めてもらい、発表時間は3分とし、残り1分の段階で司会が声掛けをした。概ねどのグループも時間を守り発表を行うことができた。

分野で部屋を2つに分かれてそれぞれ同時並行で、各グループで話し合った発表を行った。



発表の様子

投票と総評

参加者1人につき3枚のシールを貼ることにより投票を行った。3枚のシールを、それぞれ3つの意見に貼ることも、1つの意見に3枚のシール全てを貼ることもできるようにするなど、投票方法は自由とした。ただし、自身の所属した分野以外の分野については投票できないものとした。各グループからさまざまな意見が出る一方で、メンバーチェンジをしたときに、良い意見だと思った内容が引き継がれ、複数のグループで同じ趣旨の意見があり、投票の獲得が分散していた。

投票後、即座に集計をし、得票数上位3位の意見について市職員から補足説明や講評を行った。市民がそれぞれ思っている内容が発表され、共感を得るような内容でうなずいていたり、斬新な内容で笑いが起こる場面もあり、終始ワークショップは楽しみながら行われていた。

実施後のアンケートにおいても、肯定的な意見が目立ち、市民同士で話し合う場であったことから、いろいろな意見を知ることができ、市政への関心につながる良い機会となっている。



投票の様子

4 参加状況及びアンケート集計結果

参加状況

住民基本台帳から無作為に抽出した 1,000 人に案内を送付したところ、72 人（7.2%）の方から参加の承諾を得ることができた。また、第 2 回ワークショップに参加した方にも案内を送付し、34 人から参加の承諾を得ることができ、参加希望者は合計 106 人となった。

参加者の男女比は、男性 46.0%、女性 52.3%と女性の方が若干多いものの、その差は数名であり、男女の偏りは生じなかった。

アンケート集計結果

参加者には、ワークショップ終了後にアンケートの記入をお願いし、1 日目は 93 人、2 日目は 74 人に協力を得られた。

(1) 参加状況（新規・継続）

項目	申込人数			実際の参加者		
	1日	8日	合計	1日	8日	合計
①新規	74	71	84	63	48	70
②継続	35	35	38	32	27	33
合計	109	106	122	95	75	103

(2) 性別

男女の参加人数に大きな差がなく、男女による偏りは生じなかった。

※アンケート未提出者がいたため不明が生じている。

項目	1日 人数	比率	8日 人数	比率	2日間 平均比率
① 男性	43	45.3%	35	46.7	46.0%
② 女性	50	52.6%	39	52.0	52.3%
不明(無回答)	2	2.1%	1	1.3	1.7%
合計	95		75		

(3) 年齢

年齢構成については20代から80代までの方から参加があり、幅広い年代の方々に参加していただくことができました。10代は全体の0.5%、20代は5.3%の参加人数に留まり、一方で、最も多く参加された60代は、28.2%と年齢層に偏りが生じている。また、60代以上を合計すると51.8%となる。

項目	1日 人数	比率	8日 人数	比率	2日間 平均比率
① 10代	1	1.1%	0	0.0%	0.5%
② 20代	5	5.3%	4	5.3%	5.3%
③ 30代	16	16.8%	8	10.7%	13.8%
④ 40代	12	12.6%	9	12.0%	12.3%
⑤ 50代	10	10.5%	13	17.3%	13.9%
⑥ 60代	27	28.4%	21	28.0%	28.2%
⑦ 70代	15	15.8%	15	20.0%	17.9%
⑧ 80代以上	7	7.4%	3	4.0%	5.7%
不明(無回答)	2	2.1%	2	2.7%	2.4%
合計	95		75		

(4) ご住所

町目別の参加者割合については、吉祥寺北町・中町・境が多く、一方で御殿山・境南町が低い状況にあった。

項目	1日人数	比率	8日人数	比率	2日間平均比率
① 吉祥寺東町	6	6.3%	5	6.7%	6.5%
② 吉祥寺南町	7	7.4%	4	5.3%	6.4%
③ 御殿山	4	4.2%	2	2.7%	3.4%
④ 吉祥寺本町	7	7.4%	4	5.3%	6.4%
⑤ 吉祥寺北町	11	11.6%	10	13.3%	12.5%
⑥ 中町	10	10.5%	9	12.0%	11.3%
⑦ 西久保	4	4.2%	4	5.3%	4.8%
⑧ 緑町	8	8.4%	6	8.0%	8.2%
⑨ 八幡町	5	5.3%	5	6.7%	6.0%
⑩ 関前	5	5.3%	4	5.3%	5.3%
⑪ 境	15	15.8%	12	16.0%	15.9%
⑫ 境南町	4	4.2%	2	2.7%	3.4%
⑬ 桜堤	7	7.4%	7	9.3%	8.4%
不明(無回答)	2	2.1%	1	1.3%	1.7%
合計	95		75		

参加者の職業

参加者の職業については、会社員は両日とも3割、専業主婦・主夫及び無職は2割を超えており、高い割合となっている。日曜日に開催することで平日働く会社員には参加しやすいよう考慮したものの、自営業、パート・アルバイト、学生の参加比率が低い状況にあった。

項目	1日 人数	比率	8日 人数	比率	2日間 平均比率
① 会社員	33	34.7%	24	32.0%	33.4%
② 公務員	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
③ 自営業	5	5.3%	2	2.7%	4.0%
④ パート・アルバイト	4	4.2%	4	5.3%	4.8%
⑤ 専業主婦・主夫	25	26.3%	17	22.7%	24.5%
⑥ 学生	2	2.1%	2	2.7%	2.4%
⑦ 無職	21	22.1%	20	26.7%	24.4%
⑧ その他	3	3.2%	3	4.0%	3.6%
不明(無回答)	2	2.1%	3	4.0%	3.1%
合計	95		75		

居住年数

武蔵野市での居住年数については、10年以上の人が、参加者のうちの5割を越えている。一方で1年未満は3%に満たない。長く武蔵野市に住んでいる市民に参加者が多かった。また、年齢の質問で60代以上が多いことから、市内に10年以上居住している60代以上の方の参加比率が高いことが推測できる。

項目	1日 人数	比率	8日 人数	比率	2日間 平均比率
① 1年未満	4	4.2%	1	1.3%	2.8%
② 1年以上5年未満	11	11.6%	4	5.3%	8.5%
③ 5年以上10年未満	10	10.5%	6	8.0%	9.3%
④ 10年以上	62	65.3%	37	49.3%	57.3%
不明(無回答)	8	8.4%	27	36.0%	22.2%
合計	95		75		

参加のきっかけ

複数回答を可として、参加を決めた理由をすべてあげていただいた。全回答数に対する割合で多かった「無作為に抽出された市民が集う会議に興味があったから」と「市政に興味があったから」は両日の平均で合わせて4割となった。「長期計画・調整計画やその策定過程に興味があったから」「市民として何か活動してみたいと思っていたから」「日ごろ感じていることについて他の市民と話してみたかった、意見を聞いてみたかったから」も両日ともに参加理由として大きく、市政への関心と市民同士で話し合う機会となることが、参加に至る大きな理由となったことがうかがえる。

また、「これまで市の計画策定や施策決定の場面に参加したことがあるか」との問いについては、「参加したことがない」との答えが両日平均で約7割となり、今回のワークショップが計画策定や施策決定における市民参加の第1歩となっている方が多い。

問:今回、参加をお決めいただいた理由はなんですか？(いくつでも)

項目	1日 参加者	比率	8日 参加者	比率	2日間 平均比率
①無作為に抽出された市民が集う会議に興味があったから	47	20.7%	7	18.9%	19.8%
②市政に興味があったから	39	17.2%	9	24.3%	20.8%
③長期計画・調整計画やその策定過程に興味があったから	34	15.0%	6	16.2%	15.6%
④市民として何か活動してみたいと思っていたから	30	13.2%	3	8.1%	10.7%
⑤報酬がよかった(魅力的だった)から	11	4.8%	3	8.1%	6.5%
⑥日ごろ感じていることについて他の市民と話してみたかった、意見を聞いてみたかったから。	34	15.0%	4	10.8%	12.9%
⑦今までワークショップに参加したことがあり、良い経験ができた、役に立ったから。	19	8.4%	1	2.7%	5.5%
⑧たまたま日程が合ったから。	10	4.4%	2	5.4%	4.9%
⑨その他(※1)	3	1.3%	2	5.4%	3.4%

※1・・・「児童館を残してほしいという意見を出すため」「同居している孫の教室に興味があった」「障害児を持ち、日々の苦勞を話したかった」「コミュニティセンターで活動していて、これからのコミュニティのあり方に興味があったので」「市が市民の意見吸い上げをどう行っているのか体験してみたかったから」といった理由もあった。

※2・・・両日参加した人については、本項目について1日でアンケートを取っているため、8日の項目から外している。8日のみ参加している人に質問しているため、総数が少なくなっている。以降の項目についても同様である。

問:これまで市の計画策定や施策決定の場面に参加されたことはありますか？(いくつでも)

項目	1日 人数	比率	8日 人数	比率	2日間 平均比率
①計画策定等の委員として参加	5	5.3%	1	7.7%	6.5%
②計画策定等の委員会の傍聴	2	2.1%	0	0.0%	1.1%
③個人としての意見提出(パブリックコメント等)	6	6.3%	1	7.7%	7.0%
④団体(NPO・コミュニティ協議会など)として意見提出	4	4.2%	0	0.0%	2.1%
⑤タウンミーティングに出席	11	11.6%	0	0.0%	5.8%
⑥市民(住民)説明会に出席	8	8.4%	0	0.0%	4.2%
⑦参加したことがない	58	61.1%	10	76.9%	69.0%
⑧その他(※)	1	1.1%	1	7.7%	4.4%
不明(無回答)	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
	95		13		

※1・・・「市嘱託職員として」「前回のワークショップに参加」「東町一丁目の公園計画」との記述。

問:ワークショップ参加依頼書をご覧になる前、武蔵野市の長期計画(第五期)についてどの程度ご存知でしたか？

項目	1日 人数	比率	8日 人数	比率	2日間 平均比率
①全く知らなかった。	43	45.3%	7	58.3%	51.8%
②名前だけは聞いたことがある。見たことがある。	22	23.2%	3	25.0%	24.1%
③読んだことがある。	24	25.3%	2	16.7%	21.0%
④その他	2	2.1%	0	0.0%	1.1%
不明(無回答)	4	4.2%	1	0.0%	2.1%
	95		13		

問:ワークショップ参加依頼書をご覧になる前、討議要綱はご覧になりましたか？

項目	1日 人数	比率	8日 人数	比率	2日間 平均比率
①読んだ。	42	44.2%	2	16.7%	30.4%
②知っていたが、読んでない。	25	26.3%	2	16.7%	21.5%
③全く知らなかった。	25	26.3%	7	58.3%	42.3%
④その他	1	1.1%	1	8.3%	4.7%
不明(無回答)	2	2.1%	1	0.0%	1.1%
	95		13		

参加後の感想

参加後の感想は「おもしろかった、楽しかった」との回答が両日平均で8割を越え、圧倒的多数であり、一方で「おもしろくなかった。つまらなかった。」は、両日ともゼロ件であった。

参加後に感じたこととして、「市政について関心が高まった」「第五期長期計画・調整計画についての関心が高まった」「話し合いのテーマに関する分野について関心が高まった」「今後の武蔵野市について考えるきっかけとなった」という回答が多くいただき、市政についての関心が高まったことがうかがえる。また、「今まで知らなかった人（市民）と知り合うきっかけとなった。」「いろいろな市民がいて、いろいろな意見や考え方があることがわかった」との意見も多く、コミュニティへの参加につながる可能性も考えられる。

問：参加された感想をお聞かせください。

項目	1日人数	比率	8日人数	比率	2日間平均比率
①おもしろかった。楽しかった。	79	83.2%	10	90.9%	87.0%
②おもしろくなかった。つまらなかった。	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
③どちらでもない。	5	5.3%	0	0.0%	2.6%
④その他(※)	4	4.2%	0	0.0%	2.1%
不明(無回答)	7	7.4%	3	9.1%	8.2%
	95		13		

※・・・「充実した時間でした。これが発展して良い町作りになればと期待しています。」「共感できる意見が多くあった。」「目新しいものはなかった」「有意義であった」との記述。

問：今回、ワークショップに参加されて、どのようにお感じになりましたか？(いくつでも)

項目	1日人数	比率	8日人数	比率	2日間平均比率
①市政について関心が高まった。	37	16.1%	6	16.7%	16.4%
②第五期長期計画・調整計画について関心が高まった。	28	12.2%	6	16.7%	14.4%
③話し合いのテーマに関する分野について関心が高まった。	36	15.7%	5	13.9%	14.8%
④今まで知らなかった人(市民)と知り合うきっかけとなった。	32	13.9%	4	11.1%	12.5%
⑤今後の武蔵野市について考える機会となった。	46	20.0%	9	25.0%	22.5%
⑥いろいろな市民がいて、いろいろな意見や考え方があることがわかった。	47	20.4%	6	16.7%	18.6%
⑦何も感じなかった。	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
⑧その他	4	1.7%	0	0.0%	0.9%
	230		36		

今後について

次回ワークショップ案内が届いたら参加したいと思うか、との問いに対しては、おおよそ6割の人が「参加したい」と答えている。一方で、「どちらでもない」との意見も多数あるものの、「参加したくない」との意見は両日ともにゼロ件であった。また、今後やってみたいと思う活動はあるか、との問いに対しては、「調整計画の案が公表されたら読んでみたい」「計画案が公表されたら意見を提出したい」が約6割、「調整計画以外の様々な計画策定にパブリックコメントなど意見を提出したい」「タウンミーティングや市民会議に参加したい」を含めると約9割となり、今回のワークショップが市民参加の意識向上につながっていることが推測できる。

問：次回ワークショップ案内が届いたら参加したいと思うか

項目	1日人数	比率	8日人数	比率	2日間平均比率
①参加したい	65	68.4%	7	53.8%	61.1%
②参加したくない	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
③どちらでもない	17	17.9%	2	15.4%	16.6%
④その他	3	3.2%	1	7.7%	5.4%
⑤不明(無回答)	10	10.5%	3	23.1%	16.8%
	95		13		

問：今後やってみたいと思う活動はあるか(いくつでも)

項目	1日人数	比率	8日人数	比率	2日間平均比率
①第五期長期計画・調整計画の計画案が公表されたら読んでみたい。	53	45.3%	8	47.1%	46.2%
②第五期長期計画・調整計画の計画案が公表されたら意見を提出したい。	12	10.3%	3	17.6%	14.0%
③第五期長期計画・調整計画以外の様々な計画策定にパブリックコメントなど意見を提出したい。	8	6.8%	2	11.8%	9.3%
④タウンミーティングや市民会議に参加したい。	26	22.2%	3	17.6%	19.9%
⑤特にやりたい活動はない。	7	6.0%	1	5.9%	5.9%
⑥その他(※)	10	8.5%	0	0.0%	4.3%
不明(無回答)	1	0.9%	0	0.0%	0.4%
	117		17		

※・・・「その時の状況によって考えたい。」との記述。

当日について

当日のテーマや進行等について伺った結果は以下のとおりであった。概ね肯定的な回答が多かったが、テーマの設定や分野の分け方については、「分野分けはいらぬ」「もっと大きな分野でよい」との意見がある一方で、「もっと小さい分野がよい」というような意見も一定数以上あり、既に話したい内容のイメージがある方にとっては、分野分けの必要性が低く、イメージがない方にとっては小さな分野の方がイメージしやすく話しやすいとの意見があった。

※ 以降の設問は、8日のアンケートでのみ実施したため、1日のデータはない。

問:6つの分野分け(「健康・福祉」「子ども・教育」「文化・市民生活」「緑・環境」「都市基盤」「行・財政)はどうでしたか?(1つだけ○をつけて下さい)

項目	人数	比率
① 分野分けは要らない。	4	5.3%
② もっと大きい分野がよい。	2	2.7%
③ ちょうどよい。	46	61.3%
④ もっと小さい分野がよい。	9	12.0%
⑤ どちらとも言えない。	5	6.7%
⑥ その他	4	5.3%
不明(無回答)	5	6.7%
	75	

問:本日の進行(メンバーチェンジなど)についてどう思いますか?(1つだけ○をつけて下さい)

項目	人数	比率
①よかった。	43	57.3%
②よくなかった。	2	2.7%
③ふつう。どちらでもない。	19	25.3%
④その他	3	4.0%
不明(無回答)	8	10.7%
	75	

- ・やるのであれば3～4回チェンジした方が面白い
- ・意見を深められない
- ・時間はたっぷりあったので意見がまとまって良かった
- ・何回も出席した人が仕切るなので自分の意見が出せない
- ・時間を長くした方がよい
- ・進行役の方のマイクボリュームを少し落としてほしい

問:テーブルでの話し合いの時間について。(1つだけ○をつけて下さい)

項目	人数	比率
①適当	45	60.0%
②長い	1	1.3%
③短い	20	26.7%
④その他	1	1.3%
不明(無回答)	8	10.7%
	75	

問:テーブルに配付した長期計画等の資料は役に立ちましたか?

項目	人数	比率
①役に立った。	53	70.7%
②役に立たなかった。→どんな資料があればよかったですか? (※)	12	16.0%
不明(無回答)	10	13.3%
	75	

※・・・「現状が少なかった。今後の予定ばかりだった。」「現状の詳細が分かるもの」「最初のスライドで充分。必要ないと思います。」「細分化された資料の方が良いかも? (テーマが絞れる)」「職員さんの説明の方が良い」「時間がなくて読めなかった。」との意見

問:発表用のシート(模造紙)は、どうでしたか?

項目	人数	比率
①よかった。(わかりやすかった。使いやすかった。)	51	68.0%
②よくなかった。(何を書けばいいかわかりづらかった。)	2	2.7%
③ふつう。どちらでもない。	16	21.3%
④その他	1	1.3%
不明(無回答)	5	6.7%
	75	

※・・・「もう少し多く記入できたら良かったです。」との意見。

問:スタッフの対応はどうでしたか。

項目	人数	比率
①満足できた。	36	48.0%
②ふつう	32	42.7%
③満足できなかった。(不満に感じた点: ※)	1	1.3%
不明(無回答)	6	8.0%
	75	

その他自由記載欄で寄せられた意見は次のとおりである。

問:次回無作為選出市民によるワークショップを開催するとしたら、どのようなテーマを希望しますか。

- ・「危機管理」をテーマに様々な分野分けで開催して欲しい。
- ・「文化・市民生活」「緑・環境」
- ・ゴミ問題
- ・これからの時代を代表する方々即ち50歳以下の方々に期待したい。
- ・テーマは決めず、武蔵野市全体についての事を話した方がいいと思います。
- ・育児、都市景観

- ・駅前開発
- ・何回も参加できている人がいるが新しい目で武蔵野市を見てほしいと思うのでもう少し細かいテーマにしてほしい。
- ・課題がよく分からないのでそこを調べてからにします。
- ・環境
- ・観光、PP　オリンピック等を含むもの
- ・教育、育児環境
- ・空き家利用、市の施設の有効利用
- ・現行のテーマで良いのではないのでしょうか？
- ・現在のテーマの深堀りでよいと思います。
- ・今までワークショップで提出された課題をもう少し深化させたテーマで行う。
- ・財政
- ・市民生活、行財政、緑
- ・青少年の問題を引き出す機会を
- ・税収を増やし支出を減らす取り組みについて等
- ・前回開催したワークショップの意見が市政へ与えた影響などを講評してほしい。
- ・男女共同参画、子育て、教育
- ・地域、安全、コミュニティ、子育て
- ・地方自治、地方分権
- ・同じで良いと思う。もう少し深く考えてゆく方向へもってゆきたい。
- ・道路、自転車の問題が毎回出ているようなので、具体的にどのように解決できるのか話し合えるといいのではないかと思います。
- ・道路の美化、多様なお店が進出しているのですが、せっかくの人気のある吉祥寺がとてもきたない町になっているのが気になります。
- ・特に思いつかない。
- ・文化・市民生活
- ・保育園、女性の社会進出と子育て
- ・防災について
- ・役所の窓口のサービス、対応について

問：今回のワークショップの感想（興味を持たれたこと、印象に残ったこと、困ったところ、わかりづらかったところなど）を自由にご記入ください。

- ・分野を絞り込む方が良い（＝深く議論できる。）
- ・クオカード金額は多すぎる。その分さらに多くの市民を参加させる方が良い。
- ・1テーブルに職員の方が1人ついて、上手に意見を引き出したり、まとめたり、考えさせたりした方が良いと思う。発表させるのもいいけれど、ただのイベント（やりましたという）になっていると思う。お金がもったいない。まとめやすい簡単なものしか結論にならず、同じで残念。
- ・コミセン問題。ムーバス（良い例）住みたい街No.1にあぐらをかいていないか。（どこがNo.1

か分からない)

- ・これからの時代の若い人（40歳以下）を中心にしても良いのではないかな！
- ・すぐやる課の設置を早期に希望
- ・とってもよく分かりました
- ・メンバーに恵まれて楽しかった。色々な人がいるので、自分の話ばかりするような人と一緒のグループだとつらい（ことが実際あったので）
- ・もう少しテーマを決めて欲しい。
- ・より多くの世代での話し合いが重要だと思った。せっかくの資料を使ってもっと多く話し合った方が良かったと思った。
- ・ワークショップでの結果や、出てきた意見への市の見解や、どこまで実現できるか、できそうか、開示をしてほしい。歳出削減にも限界がある。歳入の増加にも目を向けて欲しい。
- ・ワークショップに参加するにあたり、自分でよく勉強できたので良かった。
- ・回を重ねるごとに改善されていて良くなっていると思います！
- ・改めて市政を見直すきっかけになり良かった。今後も市政に積極的に参加していけそうです。「無作為」が良いと思う。「希望者」にすると、そういう人しか集まらないので。
- ・皆が問題に思う事はだいたい共通していると感じました。
- ・皆さんがそれぞれアイデア（課題に対して）を持っている事が分かって感動した。
- ・各テーブルでの話し合いには困っている事等、同様のテーマがある。何年たっても解決できていない事が分かった。
- ・居住区によって道路、交通などの環境に違う事が色々あると感じた。ここでまとめた意見がどう反映されるのか是非知りたい。
- ・計画を策定担当された方がメンバーの他に、各テーブル1名参加すれば、内容に一層興味が出ると思います。
- ・御年配の方（自分も含め）が多いので市に対してお願いすることが多くなってしまいました。
- ・今日は時間のとり方が早すぎです。最後に職員の説明があったのは分かりやすく良かったです。
- ・最後の投票は、多かったテーマほど票が分散されるので、今後の政策の参考とする際にはその点を理解して頂きたい。
- ・参加者に若年層（20～30代）の割合が少ない印象がありました。当該年代の意識の問題かもしれませんが、何らかの誘導策があれば良いと思います。
- ・子育て中のために「子ども・教育」に参加したかったが都合がつかなかった。3月は子供の行事で同じように興味、関心がありながら参加できなかった方もいると思うので
- ・市の適正人口はどの辺に置いているかが、一番知りたかったが、基本計画には記載されていないのは意外だった。
- ・市議会の廃止はしないになりましたが、廃止まではとにかく報酬等考える事、多いです。
- ・市政について初めて考えてみました。電柱の地中化は必要だと感じました。
- ・市政に反映された時私達の意見がどういう型になっていったのかを知りたいし、今後もワークショップの型で良いから市民の意見を取り入れた市政をお願いしたい。
- ・市民の参政意識を高めるという意味でも意義があったと思う。もっと裾野を広げていくべき

と思うが、財政負担も鑑み無償で叶うものを増やしてもいいのではないか。(参加者からは十分な満足感が伺えたと思います。)

- ・自転車、若年層への関心が高いのは皆共通している。漫画の内容が分かりやすかった。
- ・若い人が2名同じテーブルに居て、彼らの生活について話が聞けて、勉強になりました。
- ・若者が少なかったのが残念でした。
- ・初めて、”市民である”という意識が生まれました。テーマとしては「文化」「環境」について話し合いをしたかったのですが、「都市基盤」「行財政」も、話してみるととても面白い意見を伺う事が出来ました。良い機会をいただきまいました。ありがとうございました。
- ・初めての経験であったが、市政に興味を持つことができて良かった。
- ・色々な方々とお話が出来て良かったです。
- ・色々な考え方があるという事がわかった。
- ・進行役の人が話しすぎて感じがある。最初に全部説明してあとはテーブルの人に進行をまかせる。人が話しているのにいきなり話し始めたりするのでジャマ感がある。
- ・多くの方が同じ意見である事を知りました。すぐやる課、できることを楽しみにしております。
- ・男女の意見の違い、年代の違い etc で他の人の意見を聞いたことは大変参考になりました。これを機会に勉強会を開いて言ったらよいと思います。メンバーチェンジはいらないのでは？同じ意見になってしまうから。
- ・投票する行為はあまり必要ないのではと感じました。なぜならそのグループで特に問題と感じて話題になったことをなめて全ての事に市役所としては対応する姿勢で臨んでもらいたい。先週一部の方のセクシャルハラスメント的な言葉が気になりました。フィリピン人のマッサージなど女性蔑視的なものや若い女性に対してラバーの英語の意味には2つあるなど発言される方は何も感じないかもしれませんが、たぶん若い女性の方は、不愉快な思いをされたのではないかと思います。私も感じましたが、もう一人の男性の方がその話をストップしてくださいました。
- ・討論はブレーストーミングの手法だとつけ加えた方が分かり易い。
- ・動画の説明は良いと思うが、文字情報が多すぎる。漫画は良いアイデアと思う。様々な意見が出され、とても有意義だったと思う。もっと広報していくべきと思う。2回目だけあって、過激とも思える意見もあったが、1つの起爆剤として考えても良いとは思う。
- ・納税のみで市の施策に関心がなかったが、多くの方の市に対する意見を生で聞くことができ、武蔵野市のレベルが分かった。
- ・班で考えた案がメンバーチェンジした班でも重複した案が出て皆考えが同じだなあと
- ・分類が「文化・・・」と「都市整備・・・」と両方に関わることがあるようで、その辺りが分かりづらいように思います。

資 料

1 参加不承諾者のアンケート集計結果と分析 (有効回答数: 306 件)

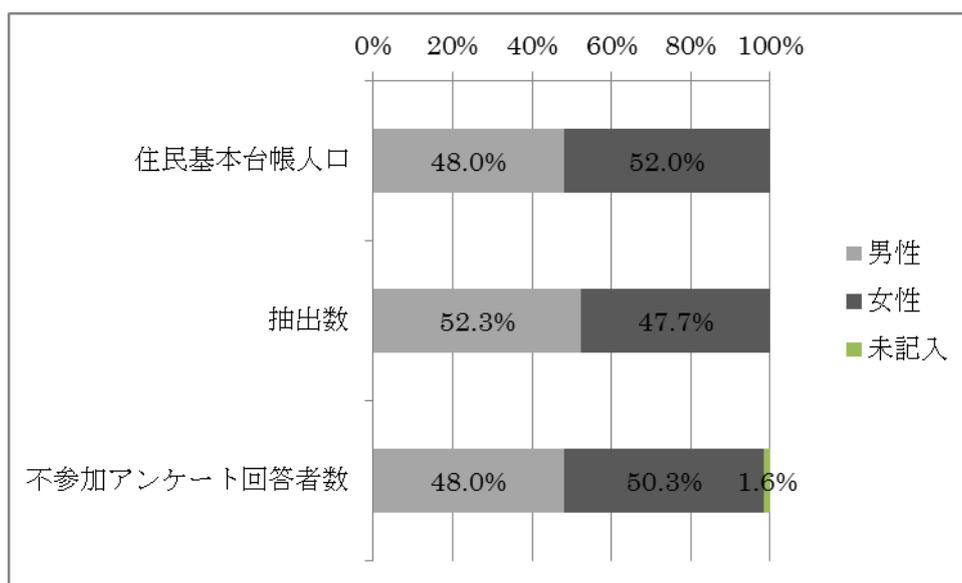
1 ご自身について回答をお願いします。

(1)性別 ① 男性 ② 女性

(単位:人)

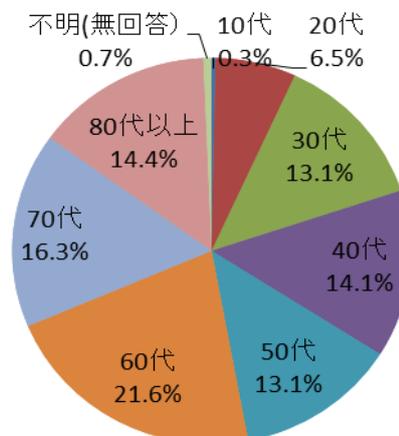
	男性	女性	未記入
住民基本台帳人口(※)	68,282	73,856	-
抽出数	523	477	-
不参加アンケート回答者数	147	154	5

※抽出日(平成 26 年 12 月 31 日現在)18 歳以上の者



(2)年齢 ① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代 ⑧ 80代以上

年代	人数	比率
10代	1	0.3%
20代	20	6.5%
30代	40	13.1%
40代	43	14.1%
50代	40	13.1%
60代	66	21.6%
70代	50	16.3%
80代以上	44	14.4%
不明(無回答)	2	0.7%
合計	306	100%



不参加者のアンケートでは男女で回答数に大きな差はなく、かつ年齢別においても総じて 30 代から 60 代に回答数に大きな偏りはない。住民基本台帳人口、抽出数及び不参加アンケート回答者数は、それぞれ全体に占める男女の比率は均等となっている。

回答者の年代 60 代の比率が多く、他の年代も参加者と比率がほぼ同じという結果となった。

- (3)ご住所 ① 吉祥寺東町 ② 吉祥寺南町 ③ 御殿山 ④ 吉祥寺本町 ⑤ 吉祥寺北町
⑥ 中町 ⑦ 西久保 ⑧ 緑町 ⑨ 八幡町 ⑩ 関前 ⑪ 境
⑫ 境南町 ⑬ 桜堤

町名	人数	回答者全体に対する比率	抽出者全体に対する比率
吉祥寺東町	19	6.21%	6.5%
吉祥寺南町	36	11.76%	11.0%
御殿山	21	6.86%	4.6%
吉祥寺本町	16	5.23%	6.9%
吉祥寺北町	21	6.86%	8.5%
中町	14	4.58%	6.5%
西久保	15	4.90%	4.8%
緑町	14	4.58%	6.2%
八幡町	25	8.17%	7.6%
関前	41	13.40%	11.7%
境	33	10.78%	10.4%
境南町	31	10.13%	9.2%
桜堤	17	5.56%	6.1%
不明	3	0.98%	—
合計	306	100.00%	100.00%

- (4)ご職業 ① 会社員 ② 公務員 ③ 自営業・自由業 ④ パート・アルバイト
⑤ 専業主婦・主夫 ⑥ 学生 ⑦ 無職 ⑧ その他()

項目	人数	比率
会社員	96	31.4%
公務員	2	0.7%
自営業	30	9.8%
パート・アルバイト	22	7.2%
専業主婦・主夫	51	16.7%
学生	5	1.6%
無職	70	22.9%
その他 (※)	17	5.6%
未記入	13	4.2%
合計	306	100.0%

※・・・「シルバー人材センター会員・施設管理員」「医師」「会社役員」「修行中」「大学関係者」「教師」「団体役員」「文筆業」

職業の分布については、こちらも参加者の状況と同様、会社員、専業主婦・主夫、無職の割合が多く、その3つの合計で7割を越える。自営業者の比率は参加者のアンケートにおける比率と比べれば高く、仕事により参加できなかったことがうかがえる。公務員、学生の比率は参加者の状況と同じく低い。若い世代の参加の低さが課題である。

(5) 武蔵野市での居住年数

項目	人数	比率
1年未満	20	6.5%
1年以上5年未満	39	12.7%
5年以上10年未満	31	10.1%
10年以上	214	69.9%
未記入	2	0.7%
	306	100.0%

参加者の状況とほぼ同様の割合である。参加者だけでなく、不参加者の方も1年未満の居住年数の方は回答数が低く、10年以上の方は約7割となっている。(参加者アンケート:1年未満約3%、10年以上約60%)

2 「武蔵野市第五期長期計画・調整計画無作為抽出市民ワークショップ」の参加依頼書を見た時、どのようにお感じになりましたか。(一部に複数回答あり)

項目	人数	比率
①おもしろそう。	87	28.3%
②つまらなそう。	5	1.6%
③あまり関心ない。興味がわかない。	92	30.0%
④何のことかよくわからない。	62	20.2%
⑤その他 (※)	38	12.4%
未記入	23	7.5%
	307	100.0%

※…記載は次のとおり

- ・(以前、企画調整・検討委員を務めた事があります。週5日は勤めるので、土日は例外を除き地域の福祉活動等に充てる。
- ・①だが時間が合わない
- ・これまでにこのような取り組みがあったことを知らなかった
- ・テーマが漠然としすぎてる
- ・関心あるテーマがあってももういいやとの感じ
- ・関心はあるが、自分が参加するのは荷が重いと感じました。
- ・関心はあるが、入り込むわずらわしさがある。
- ・関心持った
- ・興味はあるが、現在仕事をしていて多忙なため仕事を休んでまで参加できない
- ・具体的にイメージが湧かない
- ・拘束時間が長い
- ・高齢で要介護、ただ今入院中(代筆・子)
- ・高齢のため討議内容が理解できないと思う
- ・今まで参加したことがない。何をするのか？出席して大丈夫か？迷った。
- ・今後の武蔵野市や武蔵野市民にいる者にとってはためになる企画だと思いました。
- ・市報の関心度が低かったので今後勉強します。
- ・市民の意見を市政に反映させようという姿勢は評価できる。ガス抜きだったら意味はないが…。
- ・自分には不向きな内容である。
- ・色々多忙のため参加は難しい
- ・大変おもしろそうですが体調悪くて出席できない
- ・突然でビックリした
- ・難しい問題です
- ・難しそう
- ・日頃市政に特に関心をもって見ていなかったので自分で役立つのが不安に感じた。心の準備が必要。
- ・年令的に無理(87歳)

- ・不詳です(本人入院中)
- ・平成26年7月初旬に杉並区より転居してきましたので市政・計画が把握できてない為
- ・忙しくて参加する時間がない
- ・良い事だと思う
- ・話し合いの結果がどの程度市政に反映されるのでしょうか？

最も多かったのは、「おもしろそう」、「あまり関心ない。興味がわからない。」という答えがほぼ同数である。関心がない、何のことかわからない、という回答は合わせて5割であった。参加者と比べ、否定的な意見が多かった。自由記載の意見としても、関心があるものの、参加することに荷が重い、わずらわしい、不向きなどといった意見もあった。また、これまで参加したことがないため不安に感じている意見もあり、関心があっても参加に結びつかない方々を、参加していただけるには何が必要なのか今後の課題である。

3 今回参加されない理由について(複数回答可)

項目	人数	比率
①仕事がある	92	26.2%
②家事・育児・介護等	39	11.1%
③冠婚葬祭に出席する	8	2.3%
④健康・身体的理由により参加が困難	45	12.8%
⑤買い物・レジャー・旅行に出かける	33	9.4%
⑥内容が難しそう	27	7.7%
⑦このイベントに関心・興味が無い	20	5.7%
⑧テーマに関心・興味が無い	12	3.4%
⑨つまらなそう	1	0.3%
⑩面倒だから	7	2.0%
⑪報酬が安い	3	0.9%
⑫会場が遠い	5	1.4%
⑬その他(※)	59	16.8%
不明(無回答)	6	1.7%
	351	100.0%

※・・・記載は次のとおり

- ・2週間連続の日曜日は厳しい
- ・2日とも出られないから
- ・2日間は長い
- ・85歳を過ぎたので
- ・おもしろそうだが、長時間の参加に意義があるかが判断できない。
- ・グループ内で意見交換するのがハードルが高い
- ・これからの人にかんばってもらいたい

- ・すでに予定が・・・。
- ・それぞれ出張の予定が入っているため都合がつきません
- ・そんなに遠くない時期に転居の可能性が出てきたことによる。
- ・デイサービスの方へ通わせていただいております。
- ・テーマについて多分自分の意見、考えが出せない。まだ不勉強です。
- ・以前に参加。新しいメンバー若い人にバトンタッチしたい。
- ・委員に同僚がおりますので、遠慮をします
- ・家の事情で今年中に武蔵野を離れます。武蔵野市は本当に素晴らしいところでした。
- ・家族が病気
- ・介護のため
- ・会場までのバスとか出れば良いのに・・・
- ・皆さんと討議できる程まだ知識不足と思う
- ・観劇のチケット購入済
- ・間もなく引越予定の為
- ・関心テーマがコストがかかりすぎる
- ・休日の午後すべてを指定していることに疑問。午前中とかの方がむしろ参加できる。
- ・居住年数がまだ短いため、色々な事が身近に感じられないでいます。
- ・現在家裁調停委員をしており、その関係の講習会とぶつかっている。
- ・拘束時間が長すぎる(1日あたりの)
- ・高齢のため
- ・私などがこのテーマに発言して良いものか悩んだから。子どももいないので、そういう方々の要望とは別の事案を
言いそうなので。
- ・視力障害があり、資料を読みこなせない
- ・詩吟コンクール出場のため
- ・時間的に忙しい時間です。主婦にとっては、5時まででは長いと思います。
- ・自分に日曜日なビジョンがない
- ・趣味のクラブ参加のため
- ・受験期間中のため
- ・週末は市内に居ない
- ・親の介護のため田舎へ帰る
- ・他のスケジュールが入りそうなので
- ・多忙であるのと立派な意見をお申し上げるには不適任であると感じるため
- ・体調不良にて入院中
- ・大阪に単身赴任中
- ・駐車場があるかどうか不明
- ・定期的に習い事がある
- ・転居して年数がないため
- ・転居で歩行困難のため
- ・土・日曜日は自宅にいないから。

- ・ 土日以外なら
- ・ 土曜日と、次週の日曜日(私的スケジュールが立てやすいと思う。)
- ・ 討議活動中で3月は忙しくなりそうだから
- ・ 特に午前中は柔軟にやれるが、午後は13時～18時勤務しているので土日は健康維持のため休む。(実務はやっていないが、特にドイツ型監査役員で経営にも参画していた。)
- ・ 認知症
- ・ 発言できるほどの意見、提案を持っていない

4 開催スケジュールについて

(1) 1日4時間で2日間行うことについてどう思われますか？

項目	人数	比率
①ちょうどよい。	53	17.3%
②(1日当たりの時間が)長い。	100	32.7%
③1日のみならよい。	62	20.3%
④短い	6	2.0%
⑤その他(※)	27	8.8%
不明(無回答)	58	19.0%
	306	100.0%

※・・・記載は次のとおり

- ・ 1日2時間くらいがMAXでは？
- ・ 1日2時間で4日の日数を設けた方が若い人は行くと思われます。
- ・ 1日のみの検討をしてはどうか。
- ・ 2日間は良いと思いますが、4時間は長い気がします
- ・ 3月は年度末で全く考えたくない
- ・ 3時間がベターと思います。90分×2
- ・ グループ討議に意義があるのか？アンケートではダメなのか？やっても2H/日くらいでは
- ・ テーマを絞って回数が多いほうが良いのでは？
- ・ ともかく一日4時間は長いと考えるが・・・いかん？
- ・ わかりません
- ・ 暇がない
- ・ 介護で気忙しいため、土日の外出は難しいです
- ・ 間隔をもう少し長くして、3～4回行った方が建設的な意見が出るのでは
- ・ 関心がない
- ・ 詰めて行う方がいいと思います。
- ・ 午後4時間だと、1日空けるの必要があり参加しづらい。午前中に終わるようなスケジュールなら参加したい。
- ・ 午前中3時間、午後4時間とか集中討議の方が達成感あり。
- ・ 行くことが無理
- ・ 行ってみないとわからない

- ・ 残念ながら参加できません
- ・ 人によっては難しいかもしれません
- ・ 日曜日の午後という設定が悪い
- ・ 年寄りにはトイレ等の問題もあり長いのは苦痛
- ・ 病弱のため医者通いのため
- ・ 曜日を選択できた方がよい。1日として複数の選択肢を設けてほしい。

4時間という設定時間を長いと感じる人は3割を越え、1日のみならよいという人も2割程いた。長時間かつ2日間開催することが、不参加となった大きな要因となっている。

一方では、参加者のアンケートからは、話し合いの時間は適当、時間が短いと感じる人も多くいる。

(2) 2週連続で日曜日に開催することについてどう思われますか？

項目	人数	比率
①他の曜日の方がいい。→何曜日ならばご参加いただける可能性がありますか？→(曜日)(※1)	32	10.5%
②2日連続開催(土日など)の方が参加しやすい。	50	16.3%
③その他(※2)	77	25.2%
不明(無回答)	147	48.0%
	306	100.0%

※1 ・ ・ 月曜日：2、水曜日：1、木曜日：1、金曜日：1、平日：4

※2 ・ ・ ・ 記載は次のとおり

- ・ 1回で良い気がします
- ・ 1週間に数日予定が入ってるため参加するなら、全部出席したいと思うので
- ・ 1日8時間の方が予定の調整がしやすい
- ・ 1日で終わらせたい
- ・ 2週連続はなかなか時間が取れないので月1回づつの2回の方が参加しやすい
- ・ 2日は厳しい
- ・ 2日間でも別のグループでやれば良い
- ・ 3月の土日含め平日も休みはない、夏休み以外難しい。
- ・ 3月は年度末で忙しい
- ・ 4時間1日が良い
- ・ いつでも良い
- ・ いろいろな立場の人がいるので毎回変えてみては？
- ・ このままでよい
- ・ しゅうを分け、また土曜日、日曜日に分けてはどうでしょうか
- ・ むしろ仕事帰りとか、それも1回あたり短時間を何回かの方が参加しやすい
- ・ もっと若い方々に
- ・ やるなら1日日曜日でしよう

- ・ わからない
- ・ 一般には土、日が良いでしょう。
- ・ 開催曜日は日曜日なのですが？
- ・ 間隔を2～4週間位に
- ・ 休みがシフト制で毎月変わる為前日までに申請しないと休日が決められない。
- ・ 休みがない
- ・ 月1回程度の日曜日なら年3回でも可能。連続の2週は多用もあり無理か。
- ・ 行くことができない
- ・ 合計時間数(日数)による
- ・ 仕事があり現状は参加不可能です。
- ・ 子供がいるので無理です。すみません。
- ・ 週末であればどちらでも
- ・ 先約があり曜日には関係ありません。1ヶ月前の短期間のお誘いに対応は無理ではないでしょうか。一般的にも。
- ・ 土・日どちらかと選択できるとベスト
- ・ 土曜日で良い
- ・ 内容に興味があれば曜日は関係ない
- ・ 日程による
- ・ 日曜日よりは土曜日の方がよい
- ・ 年度末以外を希望します。
- ・ 不定休のため参加できない
- ・ 平日
- ・ 平日、子どもが学校に行っている間なら参加できる
- ・ 平日の方が参加しやすい方もいるのでは。2日参加はスケジュールが合わない。
- ・ 平日も含め選択できる方が良いと思う
- ・ 平日午前10時～
- ・ 平日夜間
- ・ 木・土リハビリのため出席できない
- ・ 要するに旧缶詰方式がベターと思います。謝礼も1日クオカード4,000円のみ。謝礼8,000円は高すぎ。
- ・ 連続するよりも1カ月等間をあけた方が参加しやすいと思います。

今回2週連続で実施したこと、また、日曜日の開催であったことについては意見がさまざまであり、なかなか一つの理由にまとめることは困難である。平日、土日という意見がともにあり、仕事を含め、生活スタイルが大きく影響している。

5 次回、このようなイベントの参加依頼書が届いたらどうしますか。(複数回答可)

項目	人数	比率
①日程が合えば参加する。	107	32.5%
②テーマに興味があれば参加する。	80	24.3%
③報酬が高ければ参加する。	6	1.8%
④できれば参加したくない。	81	24.6%
⑤その他(※)	36	10.9%
不明(無回答)	19	5.8%
	329	100.0%

※…記載は次のとおり

- ・アンケートでも意見を述べられれば良いと思います。
- ・テーマについて要望が大きく他の人に教えたいと感じられたら
- ・ハードルが高くなければ
- ・育児がなければ
- ・介護のため長時間の外出ができないため、参加しにくい
- ・健康上参加できない
- ・元気なら参加したいと思います
- ・行けない
- ・高齢により参加不可
- ・参加したくない
- ・参加できない
- ・仕事で無理です。
- ・子どものいる家庭だけでなく、取り残されている人々に光を当てるのなら参加します。
- ・市のHPで詳細が判りそうなのでなんともいえない
- ・時間が短ければ参加したい。
- ・若い世代に参加して頂きたい
- ・住みたい街No.1の吉祥寺の住みたい理由の1つに公園があると聞いています。その井の頭恩賜公園が2017年に100年を迎えます。公園の6割以上は三鷹市だと思いますが、100年に向けて何か大きな協力をお願いします。
- ・色々な条件がもっと参加しやすいものになれば
- ・全く関心がない
- ・単身赴任が終了していたら伺える
- ・内容に依存する

日程が合えば参加する、と答えた方は約3割で、参加の意思はあるものの参加できなかった方が多いことがわかる。テーマに興味があれば参加する、と答えた方も2割おり、これら2つの合計で約5割を超え、条件が合わなかったため、参加できなかった方が多いことが判明した。

6 その他何かあればご自由にお書きください。

- 全体の課題をわずか8時間でまとめるのは多分無理と思います。・1分野だけでも数時間必要かと思えます。・報酬は安すぎると思います。
- ①電柱の地中化②三鷹通り、井の頭通りの交差点の歩道拡張③小中学校の耐震化 以上を希望します。
- 1日限定の方が参加しやすいと思う。
- 高齢のため85歳中々長時間の討議には難しいです。
- 80過ぎの年寄りにはよくわからない
- 90歳の老齢現在の状況があれば出席困難である
- CO2削減のため自転車通勤などのために無料の駐車場の設定②武蔵野プレイスで自分のパソコンを持ち込んで作業できるように電源の確保とインターネットの設定など要望はあります。要望が通るなら参加したい。
- いわゆるブレインストーミングを発展させていくワークショップの活用は賛成です。ファシリテーターをよくやっていたので、このような試みを市が取り上げていくのを支持します。
- グループでやっても全く意味はない。個人意見でやるべき。時間の無駄。
- こういった意見の交換会は市の発展のためには良い事だと思うので、これからも続けていってほしいです。
- こういった市民の意見を集める場を設けるのは非常に良い事だと思います。無作為に1000人集めるより、年齢、地域、性別などを考慮するとより良いかもしれないですね。
- こういった取り組みに参加する事も市民の義務だと思いますが、参加できる選択肢、つまり日程等も含めて、参加しやすい環境を使っていただけるとありがたいです。取組み自体は素晴らしいと思います。ご苦労さまです。
- このような討議だとうるさく、声の大きい人だけがしゃべって、おとなしい人の声が届かないという事にはなりませんか。
- テーマ等わかりにくすぎる。参加する分野を選べるようにするとか、友人と参加できるようにするとか、ハードルを下げてもらわないと行ってみようかなという気持ちがおきない
- ない
- バイクの駐車場をもっと増やしてほしい。前のように全員定額制に戻してほしい。
- わかりません
- 以前に参加経験あり。上記にも記載した。個人的には頭が固くなってきた。自分の意見が自分自身の中でよくまとまらない。進め方:新しい方法のアイデアがあるわけではないが、マンネリ気味。変えられないか?討議の時間を長く、じっくりと。さもないとオザナリにまとめてしまう。
- 各コミュニティーセンターで狭範囲から、無作為抽出して話し合う方法も良いかと思う。(近くの色々会場、境南、境ならスイングホールとか、会場を1ヶ所に決めないで出来ないか検討してほしい。
- 完全な「無作為抽出」で参加を呼びかけておられるのなら、参加メンバーの性別、年代、居住場所、職業等に偏りが生じるのではないかと懸念しますが、如何ですか?
- 興味はあったが、都合により参加できず残念である。企画としてはとても良いと思います。(妻なら参加出来たかも知れません)
- 興味深いワークショップだったので、是非参加したかったのですが、2月中に引っ越さないといけなく

なり、残念です。短い間でしたが、武蔵野市はとても住みやすかったです。

- ・ 結構な企画と思う。
- ・ 健康上困難
- ・ 幸運のチャンス残念、申し訳ないです。
- ・ 今回は出張と重なり参加できませんが、次回日程が合えば参加したいと思います。
- ・ 今回は申し訳ございませんが、市が無作為で抽出され当方の希望でもないので、欠席とさせていただきます。
- ・ 今回は都合がつかず申し訳ありません。日曜なら本来参加できる曜日なのです、運が悪かったです。
- ・ 今回は都合がつきませんでした。良い取組みだと思います。もう少し短い時間ですと参加しやすく、ご検討をお願いいたします。
- ・ 今回参加できないのは残念です。
- ・ 参加したいが、ちょうど日程が合わなかった。
- ・ 参加したいがテーマについて、きちんと意見を発表できるか少し不安もあります。それでも良いなら今後日程が合えば参加したいと思います。
- ・ 子どもがまだ小さいので難しいです。託児付だと良いですね。
- ・ 参加できるとしてのスケジュールに対してのチェックです。
- ・ 仕事が平日休みのため、残念ではありますが、不参加とさせていただきます。次回、機会があれば是非参加させて頂きたいと思います。
- ・ 子育てに優しい市政をお願い致します。
- ・ 子供が2ヶ月のため、今回の参加は見送ります。機会があれば是非参加したいと思います。
- ・ 市長への要望を何回書いても取り入れてもらえずあきらめました。
- ・ 市報はよく読ませていただいております。目下武蔵野市を研究中というところです。
- ・ 市民にも参加して一緒に計画書を作成するという市民中心の考えが良いと思いました。
- ・ 市民の意見を聞いて頂けるこのような機会は素晴らしいと思います。アンケートの形式でやって頂けたらそれぞれの課題について考える事を書けると思います。
- ・ 時間が長いと、時間をもてあますヒマな人しか参加しないと思うので、意見が偏ると思う。報酬がもう少し低くても、1日あたりの時間と期間が短ければ参加を考えてもよい。グループワークなので話のレベルが合わない人とグループになってもつらい。
- ・ 自分は死ぬまで市で過ごしたい。市での課題は何か知り豊かな充実した生活が送れると思うので。健康なうちはここで過ごしたい。
- ・ 有効な意見交換の場となる事を期待しています。
- ・ 初めて、このような活動をしている事を知り、市のHPで討議要綱を見ました。大変、素晴らしい活動だと思います。
- ・ 小学校校庭の立入禁止区域を早急に直してください。1年間も放置しているのはあまりにも無責任すぎる。
- ・ 制度、政策(市の)にあまり興味がなく、不勉強でした。今後は参加できるように努力します。
- ・ 選挙と同様、参加出来たら良いのですが、申し訳ありません。
- ・ 選挙に参加出来ない10代の意見も取り入れられるこういった機会は重要だと思います。

- ・息子の介護のため外出がなかなかできません
- ・足が大変弱り皆さんと中々一緒に歩くことができなくなりました。お世話になるばかりです。感謝の毎日を送っています。
- ・体調不良につき参加できません
- ・知的障害者の為難しい
- ・駐車場を希望します。
- ・町づくりで自転車ルールの徹底、施行を何故作れないのか！
- ・電柱、電線の地中化実施。公共表示板のアートデザイン化。公共アートにアグレッシブな設置。ウェブアートギャラリーの泰松画廊を参考にして下さい。
- ・特になし
- ・日程の都合で参加できなくて残念です
- ・年を取り、思考能力に欠けてきたため、長期計画という事を考えるともう少し若い人にゆだねたいと思います。
- ・年配の方の仕事も考えられたら良いかなとも思います。
- ・年齢が高くなってからの参加はしんどい 82 歳
- ・普段長期計画・調整計画については、遠い存在ですが、このような形で市民の意見を聴く機会をつくるのは良い事だと思います。
- ・武蔵野警察と連携して、自転車危険走行の取締りを行ってほしいと思います。境地区では現在野放し状態。歴史資料館の内容の充実を図るべき。都内の図書館と同様に武蔵野市も漫画の貸し出しは止めるか、縮小すべきだと思います。もっと芸術書を充実させて。
- ・武蔵野市に住んでまだ日が浅く、街の事に意見が言えない為参加しづらいです。不参加とさせて頂きました。
- ・武蔵野市はいろいろな事が充実していて友達から羨ましがられます。私も障害の子が様々な恩恵を受けていて感謝しています。
- ・武蔵野市民として短期間お世話になっただけですが非常に住みやすい場を頂きました。ありがとうございました。
- ・年齢によって関心のある事が違うと思いますので、話し合いは、ある程度年齢を分けて行った方が良いと思います。
- ・本人入院中のため回答できずにすみません。
- ・毎日の仕事、他に追われ心に余裕がない。時間的にも。大切な事だとは思いますが
- ・毎年の市政アンケートで要望は出しています。今回は既に予定も入っていますので、欠席させていただきます。
- ・無作為抽出に疑問を感じる。このアンケートは参加できない理由を知りたいだけなのでしょうか。
- ・良い企画だと思います。
- ・老々介護で市の係の先生方にお世話になり感謝しております。皆様方のご親切で寄り添っていただき心より御礼申し上げます。主人(要介護3)
- ・話し合う内容が多すぎて一気に話し合うのは難しい。もう少し内容を具体化しその内容に合った人達を集めれば内容の濃い話し合いになるのではないのでしょうか。それには2回という回数では少ないかもしれませんね。

2 その他資料

(1) ワークショップのご案内【新規参加者】

(表面)

武蔵野市取り組むべき課題をまとめた「討議要綱」
について意見をお聞かせ下さい！

～無作為抽出の市民ワークショップを行います～



武蔵野市では、平成28年度を初年度とする武蔵野市第五期長期計画・調整計画の策定に取り組んでいます。計画策定に向け、多くの市民の皆様のご意見を伺うことを目的とした無作為に抽出された市民の方々によるワークショップを開催することにいたしました。

今回のワークショップでは、今年2月1日の市報特集号（全戸配布しています）やホームページで公表しました「武蔵野市第五期長期計画・調整計画（平成28～32年度）討議要綱」について、みなさまからのご意見・ご提案を、グループ内で意見交換していただく予定です。

この機会にぜひご参加ください。

ワークショップって何するの？

今回のワークショップでは、4～5人を1グループとして、グループ内で自由に意見を出し合ってください。その後、グループの意見をまとめて発表します。

討議要綱とは…

長期計画・調整計画の策定にあたり議論すべき課題や方向性などをまとめたものです。

長期計画・調整計画とは…

長期計画は、市政運営の基本理念や実施すべき施策などについて定めた**市の最も重要な計画**です。現在の第五期長期計画の期間は、平成24年度から33年度までの10年間ですが、策定後に生じたさまざまな社会情勢の変化などに対応し、計画の実効性を保つために、調整計画を策定します。

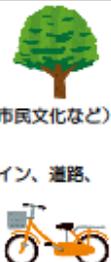


今年度2回実施したワークショップの様子は、市ホームページでご覧いただけます。

※このご案内は、住民基本台帳から18歳以上の市民の方1,000人を無作為に抽出してお送りしています。なお、武蔵野市役所の職員は参加できません。

(裏面)

1 日時等 *いずれか1日だけでも参加できますが、2日間とも参加できる方を優先します。

	第1日目	第2日目
日時	平成27年3月1日(日) 13:00~17:00(予定)	平成27年3月8日(日) 13:00~17:00(予定)
会場	武蔵野市役所 西棟8階 811会議室 (緑町2-2-28)	
テーマ	武蔵野市長期計画・調整計画の討議要綱について	
分野	健康・福祉 (例:高齢者、障害者、医療、心の健康、介護、地域福祉活動、ボランティア、地域の安全・安心、など) 子ども・教育 (例:子育て、保育、学校、青少年、子どもの安全・安心、自然体験、図書館など) 	緑・環境 (例:環境、ごみ、緑化、自然など) 文化・市民生活 (例:商業、観光、防犯・防災、コミュニティ、男女共同、スポーツ、市民文化など) 都市基盤・行財政 (例:まちづくり、ユニバーサルデザイン、道路、上下水道、公共交通、自転車、住宅、行政運営、地域情報、財政運営、公共施設配置、職員など) 

2 謝礼等 1日につき4,000円分のクオカードをお渡しいたします。

3 参加定員数 参加を承諾した方100名
(前回のワークショップに参加し、今回の参加を希望する方を含まます。)

4 参加を承諾される方

(1) 承諾書の返送

参加をご承諾いただける方は、お手数ですが、別紙承諾書にご記入のうえ、同封の返信用封筒によりご返送ください。平成27年2月16日(月)必着

(2) 参加者の決定

参加を承諾された方が100名に満たない場合には、参加を承諾された方全員にご参加いただけますが、100名を超えた場合は、抽選により参加者を決定いたします。いずれの場合にも、参加承諾者全員に速やかに結果をご連絡いたします。

(3) その他

参加できる方は、通知のあて先のご本人様のみとなります。ご家族の方などでも代理で参加することはできませんので、ご注意ください。

5 参加を承諾されない方

ご都合により参加されない場合は、お手数ですが、同封しましたアンケートの回答にご協力をお願いします。FAXまたは同封の返信用封筒により、平成27年2月23日(月)までにご返送ください。

6 その他

託児・手話通訳等が必要な方は、承諾書にご記入ください。

★お問い合わせ★

武蔵野市 総合政策部 企画調整課
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28
TEL 0422-60-1801
FAX 0422-51-5638
E-mail sec-kikaku@city.musashino.lg.jp

(2) ワークショップのご案内【前回参加者】

(表面)

武蔵野市取り組むべき課題をまとめた「討議要綱」 について意見をお聞かせ下さい！

～第3回 無作為抽出の市民ワークショップを行います～



昨年は、お忙しい中、無作為抽出市民ワークショップにご参加くださり、ありがとうございました。その際に出されたご意見を参考にしながら、第五期長期計画・調整計画策定委員会にて、計画の策定に取り組んでいます。

今回のワークショップでは、今年2月1日の市報特集号（全戸配布しています）やホームページで公表しました「武蔵野市第五期長期計画・調整計画（平成28～32年度）討議要綱」について、みなさまからのご意見・ご提案について、グループ内で意見交換していただく予定です。前回のワークショップに引き続き、武蔵野市が取り組むべき課題について、いろいろな方と意見を交わしてみませんか。

皆様のご参加をお待ちしております！

討議要綱とは・・・

長期計画・調整計画の策定にあたり議論すべき課題等をまとめたものです。

2月1日の市報特集号で掲載し、全戸配布しています。

長期計画・調整計画とは・・・

長期計画は、市政運営の基本理念や実施すべき施策などについて定めた**市の最も重要な計画**です。

現在の第五期長期計画の期間は、平成24年度から33年度までの10年間ですが、策定後に生じたさまざまな社会情勢の変化などに対応し、計画の実効性を保つために、調整計画を策定します。



今年度2回実施したワークショップの様子は、市ホームページでご覧いただけます。

(裏面)

1 日時等 *いずれか1日だけでも参加できますが、2日間とも参加できる方を優先します。

	第1日目	第2日目
日時	平成27年3月1日(日) 13:00~17:00(予定)	平成27年3月8日(日) 13:00~17:00(予定)
会場	武蔵野市役所 西棟8階 811会議室 (緑町2-2-28)	
テーマ	武蔵野市長期計画・調整計画の討議要綱について	
分野	健康・福祉 子ども・教育 	文化・市民生活 緑・環境 都市基盤・行財政 

2 謝礼等 1日につき4,000円分のクオカードをお渡しいたします。

3 参加定員数 参加を承諾した方100名
(前回のワークショップに参加し、今回の参加を希望する方を含みます。)

4 参加を承諾される方

(1) 承諾書の返送

参加をご承諾いただける方は、お手数ですが、別紙承諾書にご記入のうえ、同封の返信用封筒によりご返送ください。(平成27年2月16日(月)必着)

(2) 参加者の決定

参加を承諾された方が20名に満たない場合には、参加を承諾された方全員にご参加いただけますが、20名を超えた場合は、抽選により参加者を決定いたします。いずれの場合にも、参加承諾者全員に速やかに結果をご連絡いたします。

(3) その他

参加できる方は、通知のあて先のご本人様のみとなります。ご家族の方などでも代理で参加することはできませんので、ご注意ください。

5 その他

託児・手話通訳等が必要な方は、承諾書にご記入ください。

第五期長期計画・調整計画の策定経過については、市公式ホームページや市報などで随時お知らせしています。

(URL: http://www.city.musashino.lg.jp/sesaku_keikaku/kihonkoso_chokikeikaku/17837/index.html)

★お問い合わせ★

武蔵野市 総合政策部 企画調整課
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28
TEL 0422-60-1801
FAX 0422-51-5638
E-mail sec-kikaku@city.musashino.lg.jp

※ このご案内は、昨年11月29日・12月6日に開催した「第五期長期計画・調整計画 無作為抽出市民ワークショップ」に参加された方へお送りしています。

(2) 承諾書

承諾書

私は、武蔵野市第五期長期計画・調整計画無作為抽出市民ワークショップの趣旨を理解し、参加することを承諾します。

平成27年____月____日

ふりがな
お名前

生年月日 明治・大正・昭和・平成 年 月 日

ご住所 武蔵野市

電話番号

●参加希望日

参加をご希望の日時を選んで○をご記入ください。1日だけでも、2日ともでもご参加いただけますが、2日間参加される方を優先いたします。

○を記入	日時	テーマ	分野
	平成27年3月1日(日) 13:00~17:00(予定)	武蔵野市長期計画・調整計画の討議要綱について	健康・福祉 子ども・教育
	平成27年3月8日(日) 13:00~17:00(予定)		文化・市民生活 緑・環境 都市基盤・行財政

※ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。

●託児サービスを利用しますか。

①いいえ ・ ②はい(お子さまのお名前^{ふりがな}____年 年齢____歳)

●手話通訳等の配置が必要ですか。

①いいえ ・ ②はい(手話通訳・車いすの介助者)

承諾書に記載された内容については、武蔵野市第五期長期計画・調整計画無作為抽出市民ワークショップの実施目的以外には使用いたしません。

(3) ワークショップへのご案内 (再送付)

ワークショップへのご案内 (再送付)

余寒の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

過日、第五期長期計画・調整計画無作為抽出市民ワークショップへの参加についてご案内をお送りしました。

参加の承諾書の返送期限は2月16日(月曜日・必着)となっております。お忙しいとは存じますが、ご都合がつかない場合は、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。また、参加されない場合にも、アンケート(2月23日締切)にご協力いただくと助かります。

今後とも、市政にご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

日時：平成27年3月1日(日) 13時から
平成27年3月8日(日) 13時から

会場：武蔵野市役所西棟8階811会議室

* このハガキは2月9日現在承諾書又はアンケートの返送のない宛先にお送りしています。既に返送いただいている場合は、行き違いですのでご容赦ください。

武蔵野市総合政策部企画調整課
TEL 0422-60-1801 FAX 0422-51-5638
E-mail sec-kikaku@city.musashino.lg.jp

(4) 参加承諾書への通知

各位

余寒の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

第五期長期計画・調整計画無作為抽出市民ワークショップへの参加のご承諾をいただき、誠にありがとうございます。

ご承諾いただいた方全員にご参加いただくことになりましたので、お知らせします。当日、このハガキをお持ちくださいますようお願いいたします。(なお、ご参加できるのはご本人様のみです。)ご来場を心よりお待ちしております。

■日時等	3月1日(日) 13時~17時	「健康・福祉」 「子ども・教育」
	3月8日(日) 13時~17時	「文化・市民生活」 「緑・環境」「都市基盤」 「行・財政」

■会場：武蔵野市役所
西棟8階811会議室 (線町2-2-28)

☆吉祥寺駅(北口①のりば)
横沢駅前行き(武蔵野市役所経由)
「武蔵野市役所」下車

☆三鷹駅(北口①のりば)
北裏、武蔵野駅、田無橋通り行き
「武蔵野市役所前」下車

☆武蔵野駅(北口④のりば)
三鷹駅行き「武蔵野営業所」下車徒歩8分

※3月1日はマラソン大会のため「武蔵野市役所」バス乗場は、12時過ぎまで使えません。吉祥寺からバスでお越しの方は、「武蔵野市役所前」バス停まで下車してお越しください。また、市役所駐車場はご利用できません。

■お問い合わせ■ 武蔵野市総合政策部企画調整課
TEL 090-3247-0083 又は 0422-60-1801

(5) アンケート

[FAX 送付先]
武蔵野市 総合政策部 企画調整課 宛
FAX 番号：0422-51-5638

ご都合により、ご参加いただけない方へ
アンケートにぜひご協力ください。

アンケート

該当する番号に○をつけてください。(複数回答可)

- ご自身について回答をお願いします。
 - 性別 ① 男性 ② 女性
 - 年齢 ① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代
⑦ 70代 ⑧ 80代以上
 - ご住所 ① 吉祥寺東町 ② 吉祥寺南町 ③ 御殿山 ④ 吉祥寺本町 ⑤ 吉祥寺北町
⑥ 中町 ⑦ 西久保 ⑧ 緑町 ⑨ 八幡町 ⑩ 関前 ⑪ 境 ⑫ 境南町 ⑬ 桜堤
 - ご職業 ① 会社員 ② 公務員 ③ 自営業・自由業 ④ パート・アルバイト
⑤ 専業主婦・主夫 ⑥ 学生 ⑦ 無職 ⑧ その他()
 - 武蔵野市での居住年数
① 1年未満 ② 1年以上5年未満 ③ 5年以上10年未満 ④ 10年以上
- 「武蔵野市第五期長期計画・調整計画無作為抽出市民ワークショップ」の参加依頼書を見た時、どのように感じましたか。
 - ① おもしろそう。 ② つまらなそう。 ③ あまり関心がない、興味がわかない。
④ 何のこともよくわからない。 ⑤ その他()
- 今回参加されない理由について
 - ① 仕事がある ② 家事・育児・介護等 ③ 冠婚葬祭に出席する
④ 健康・身体的理由により参加が困難 ⑤ 買い物・レジャー・旅行に出かける
⑥ 内容が難しそう ⑦ このイベントに関心・興味がない
⑧ テーマに興味・関心がない ⑨ つまらなそう ⑩ 面倒だから ⑪ 報酬が安い
⑫ 会場が遠い ⑬ その他()
- 開催スケジュールについて
 - (1) 1日4時間で2日開催することについてどう思われますか?
① ちょうどよい。 ② (1日当たりの時間が)長い。 ③ 1日のみならよい。
④ 短い。 ⑤ その他()
 - (2) 2連続で土曜日に開催することについてどう思われますか?
① 他の曜日の方がいい。一何曜日ならばご参加いただける可能性がありますか?-(曜日)
② 2日連続開催(土日など)の方が参加しやすい。③ その他()
- 次回、このようなイベントの参加依頼書が届いたらどうしますか。
 - ① 日程が合えば参加する。② テーマに興味があれば参加する。③ 報酬が高ければ参加する。
④ できれば参加したくない。⑤ その他()
- その他何かあればご自由にお書きください。

ご協力いただき、ありがとうございました。

(6) 見学のルール

ワークショップ見学のルール

1 見学の手続

ワークショップを見学しようとする人は、受付で住所および氏名を記入し、入室中は見学者名札を着用するものとします。

2 見学の定員

見学の定員は、原則として10人程度とし、事務局が会場の状況を考慮して決定します。

3 会場に入ることができない人

- (1) 銃器その他危険なものを所持している人
- (2) 酒気を帯びていると認められる人
- (3) 張り紙、ピラ、旗の類を所持している人
- (4) 笛、ラッパ、太鼓その他楽器の類を所持している人
- (5) 会議を妨害し、又は人に迷惑を及ぼすと認められる人

4 見学人の守るべき事項

- (1) 一切の発言はできませんので、あらかじめご了承ください。
- (2) 飲食又は喫煙はできません。
- (3) 写真、ビデオ等の撮影又は録音はできません。ただし、特に事務局の許可を得た場合を除きます。
- (4) ワークショップ開催中は、携帯電話の電源を切るか、マナーモードに設定してください。
- (5) その他ワークショップの運営に支障となる行為はしないでください。
- (6) 事務局の指示に従ってください。

5 その他

- (1) 入退室は、進行に支障のないように配慮してください。
- (2) 話し合いの支障となるような行為は厳に慎んでください。
- (3) 見学者は、事務局が会議の進行に支障があると判断した場合又は見学者がこのルールに定める事項に従わない場合で、事務局から退室の指示があったときは、直ちに退室しなければなりません。
- (4) お帰りの際には、見学者名札を事務局へご返却ください。